

御殿場市立図書館等整備基本構想

報 告 書



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

令和3年1月

御殿場市

目次

はじめに	1
第1章 現況調査	2
(1) 既存施設の現状把握	2
(2) 図書館を取り巻く動向の整理	15
(3) 上位計画・関連計画の位置づけ	16
(4) 図書館整備に至る経過のまとめ	19
第2章 市民ニーズの把握	20
(1) 利用者アンケート結果（新たな図書館等の整備に関するアンケート）	20
(2) 関係者ヒアリング	38
(3) 図書館等整備基本構想策定懇話会 視察後アンケート	47
第3章 図書館等の整備課題の整理	50
(1) 整備計画における条件	50
(2) 整備課題の整理	50
(3) 関係法令	52
(4) 配慮すべき事項	54
(5) ICT 技術の導入検討	55
第4章 新図書館等基本構想の基本方針	56
(1) 新図書館等の将来像	56
(2) 新図書館等の基本的な方向性	56
(3) 目指す方向性の整理	58
第5章 整備候補地の検討	60
(1) 図書館の移転について	60
(2) 候補地の検討	61
(3) 図書館等建設候補地の評価	62
(4) 総合評価	63
(5) 検討結果	63
第6章 整備・運営の検討	64
(1) 整備概要の検討	64
(2) 管理運営手法の検討	67
(3) 新図書館の建設イメージ	72
資料編	75

◆御殿場市立図書館等整備基本構想とは

「御殿場市立図書館等整備基本構想」とは、新図書館等の整備に向けて、現図書館の現況・課題の整理、新図書館等の実現可能な望ましい機能の検討、整備・活用のイメージなどをとりまとめるものです。

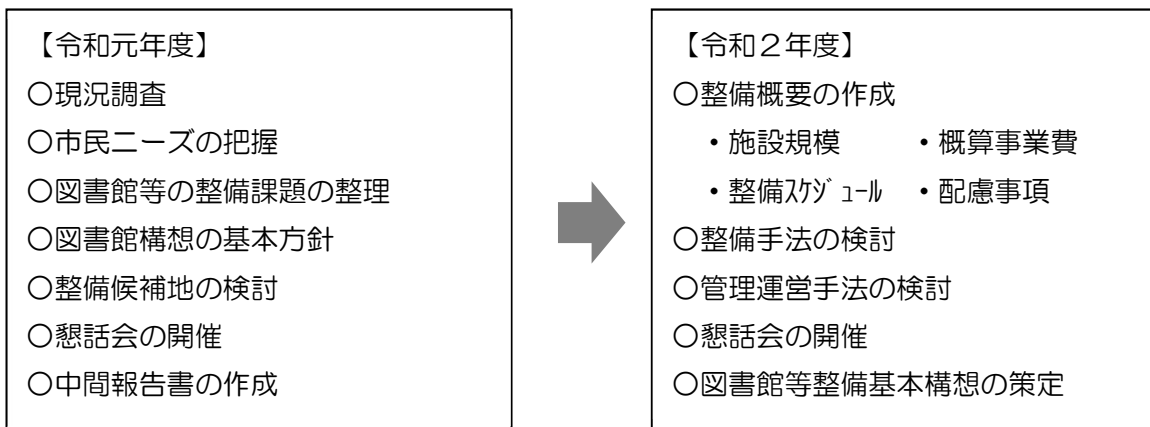
◆基本構想策定の背景と経過

御殿場市立図書館は、建物の耐震強度の不足による安全性の問題、施設の老朽化による雨漏り等の修繕、蔵書・資料の増大によるスペースの不足等のハード面の外、利用者の図書館ニーズの多様化への対応等が強く求められています。

これらを踏まえ、平成 28 年度に「御殿場市図書館等将来構想策定庁内検討委員会」を設置し、平成 30 年度にかけて新図書館等の整備のあり方や候補地の検討を進めてきました。当該委員会では、併せて民俗資料収蔵庫の老朽化・狭小化、郷土歴史資料の展示スペースがない等の課題も踏まえ、新図書館は郷土資料館的機能を有した施設として整備を進める方向で具体化を図るものとしています。

さらに、令和元年度からは学識経験者や関係諸団体等から選出された委員による「御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会」を組織し、専門的意見及び地域住民等の意見を聴取しています。

◆策定スケジュール



第1章 現況調査

(1) 既存施設の現状把握

1) 市立図書館の現況

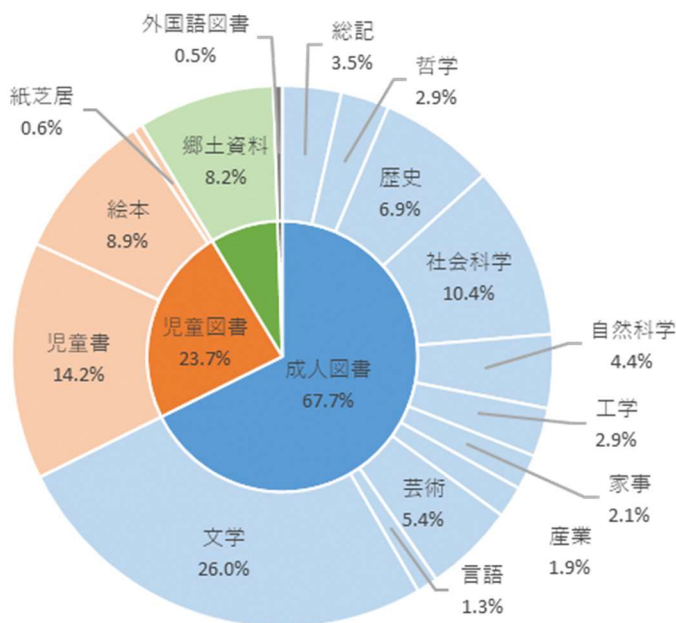
①蔵書数及び分類別内訳

蔵書の分類別割合は、文学（小説等）や児童書の割合が高くなっています。

■所蔵資料の冊数及び分類別割合

大分類	冊数(冊)	小分類	冊数(冊)
成人図書	187,238	総記	9,721
		哲学	7,994
		歴史	19,145
		社会科学	28,671
		自然科学	12,175
		工学	8,060
		家事	5,825
		産業	5,204
		芸術	14,957
		言語	3,487
		文学	71,999
児童図書	65,472	児童書	39,244
		絵本	24,667
		紙芝居	1,561
郷土資料	22,569	郷土資料	22,569
外国語図書	1,462	外国語図書	1,462
合計			276,741

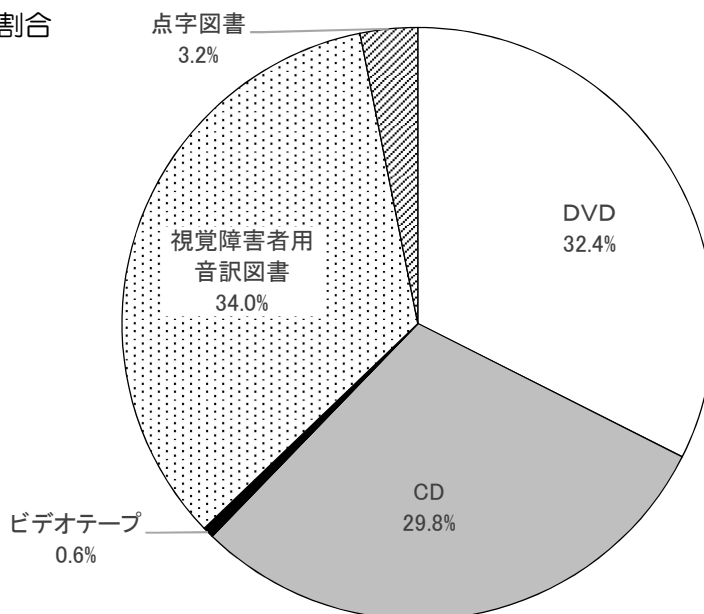
(令和2年4月1日現在)



②視聴覚資料

視聴覚資料は、DVDやCD、視覚障害者用の音訳図書、点字図書も所蔵しています。

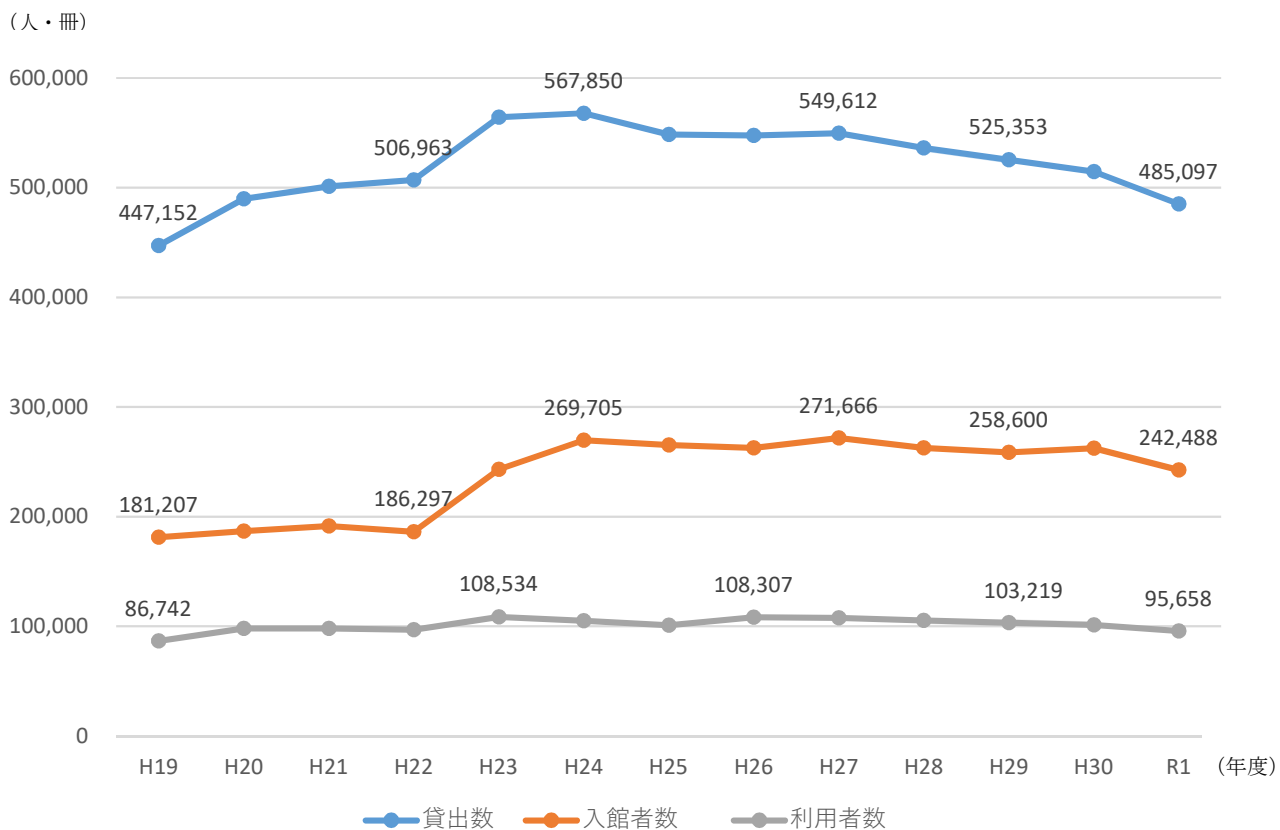
■視聴覚資料の分野別割合



③貸出数、入館者数、利用者数の推移

貸出数は50万冊程度、利用者数は10万人程度となっており、利用は概ね横ばいで推移しています。

■貸出数、入館者数、利用者数の推移



④広域利用

○広域利用者数は、御殿場市への在勤在学者だけでなく、近隣市町の在住者でも増加しています。

■近隣市町在住の登録者数の増減

(単位：人)

市町別	H30年度	R1年度	増減
小山町	1,568	1,635	67
裾野市	690	720	30
長泉町	54	57	3
清水町	15	15	0
沼津市	85	89	4
三島市	57	62	5
その他	34	37	3
合計	2,503	2,615	112

■御殿場市に在勤在学している方の登録者数の増減

(単位：人)

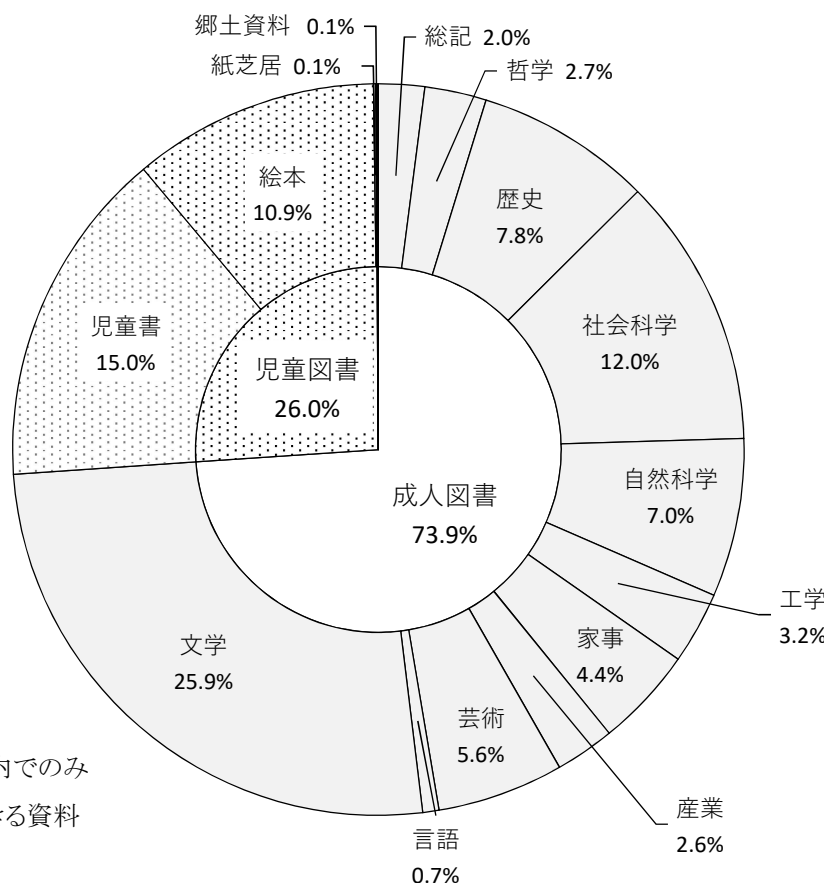
市町別	H30年度	R1年度	増減
小山町	395	402	7
裾野市	260	266	6
長泉町	32	32	0
清水町	5	5	0
沼津市	57	58	1
三島市	41	44	3
その他	195	206	11
合計	985	1,013	28

⑤年間購入図書分類別内訳

○令和元年度は禁帯出*を含め、年間 5,156 冊を購入し、分類別では、所蔵資料の分類別割合に準じて購入していることがわかります。

■年間購入図書分類別内訳

大分類	小分類	令和元年度(冊)					構成比
		貸出用	構成比	禁帯出	構成比	合計	
成人図書	00 総記	85	1.7%	20	15.5%	105	2.0%
	01 哲学	137	2.7%	4	3.1%	141	2.7%
	02 歴史	385	7.7%	14	10.8%	399	7.8%
	03 社会科学	566	11.3%	50	38.8%	616	12.0%
	04 自然科学	348	6.9%	14	10.8%	362	7.0%
	05 工学	159	3.2%	3	2.3%	162	3.2%
	家事	228	4.5%	0	0.0%	228	4.4%
	06 産業	131	2.6%	5	3.9%	136	2.6%
	07 芸術	283	5.7%	6	4.7%	289	5.6%
	08 言語	32	0.6%	5	3.9%	37	0.7%
09 文学	1,329	26.4%	8	6.2%	1,337	25.9%	
	合計	3,683	73.3%	129	100.0%	3,812	73.9%
児童図書	児童書	772	15.3%	0	0.0%	772	15.0%
	絵本	563	11.2%	0	0.0%	563	10.9%
	紙芝居	3	0.1%	0	0.0%	3	0.1%
	合計	1,338	26.6%	0	0.0%	1,338	26.0%
郷土資料	郷土資料	6	0.1%	0	0.0%	6	0.1%
	合計	6	0.1%	0	0.0%	6	0.1%
外国語図書	成人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	児童	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	総合計	5,027	100.0%	129	100.0%	5,156	100.0%



※禁帯出:図書館内でのみ
利用できる資料

⑥建築概要・工事履歴

○現図書館は1981年竣工で、1990年代に改修工事を行っています。近年は主だった改修工事はありませんが、竣工後39年以上が経過し、老朽化が進んでいます。

a) 市立図書館

■建築概要

所在地 御殿場市萩原580番地の2

構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

階数 地上2階

敷地面積 7861.47㎡

建築面積 1901.38㎡

延床面積 2382.86㎡

(1階：1829.92㎡ 2階：518.63㎡ 積層階：34.31㎡)

開館 昭和56年11月3日

■工事履歴

1981年 8月 竣工

1994年 7月 外壁改修工事

1995年 9月 照明改修工事

1995年10月 屋上防水工事

1998年 6月 下水道接続工事

1998年11月 外壁補修及び水切金物取付工事

2007年 冷温水発生機更新工事

b) 富士岡地区図書館

■建築概要

所在地 御殿場市中山435番地の1（市役所富士岡支所2階）

延床面積 42.12㎡

開館 昭和62年7月22日

2) 県内の中央図書館における施設水準

○施設の広さについて、県内の他の中央図書館と比較して、奉仕人口（利用対象人口）1人あたりの床面積は、県内の施設の平均的な水準といえます。また施設の広さ（延床面積）も平均的な広さといえます。

○一方、入館者一人あたりの床面積は、県内の他の中央図書館の平均的な水準よりもやや狭く、床面積のわりに、よく利用されているともいえます。

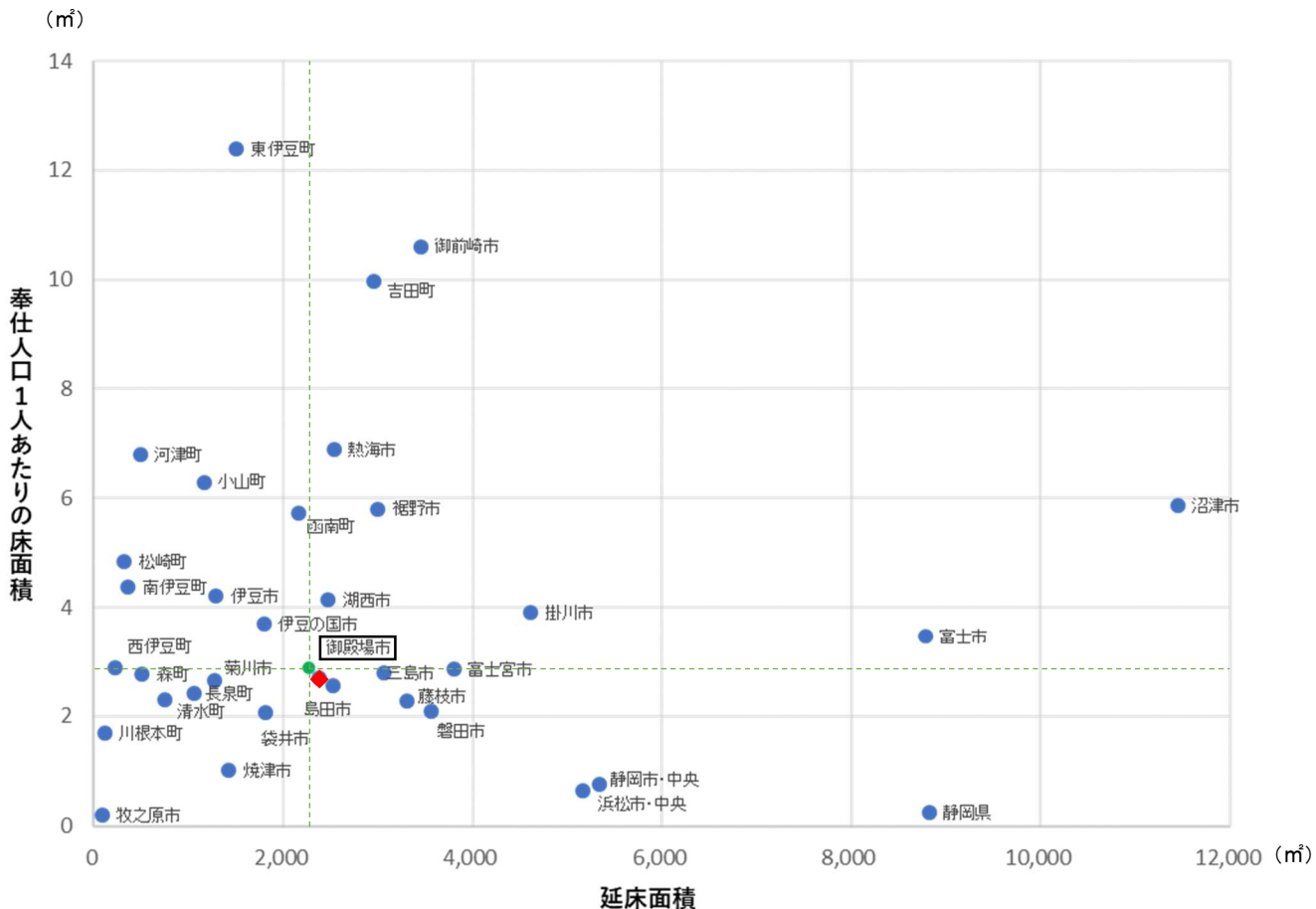
■県内の公立中央図書館の施設水準（平成30年度）

自治体名	図書館名	延床面積 (㎡)	奉仕人口	職員数 (人)	司書 比率 (%)	入館者数 (年度実績)	奉仕人口1人 あたりの床面積 (㎡)	入館者1人 あたりの床面積 (㎡)
静岡県	静岡県立中央図書館	8,817	3,714,537	46.3	44	134,199	0.24	6.57
下田市	下田市立図書館	763	21,492	5.8	—	—	—	—
伊東市	伊東市立伊東図書館	954	68,861	11.2	40	—	—	—
熱海市	熱海市立図書館	2,535	36,848	12	25	169,363	6.88	1.50
伊豆市	伊豆市立修善寺図書館	1,291	30,678	12	33	66,962	4.21	1.93
伊豆の国市	伊豆の国市立中央図書館	1,796	48,686	8	67	58,604	3.69	3.07
三島市	三島市立図書館	3,068	109,965	28.4	71	385,938	2.79	0.79
御殿場市	御殿場市立図書館	2,383	88,257	16.9	-	262,533	2.70	0.91
裾野市	裾野市立鈴木図書館	3,002	51,707	14.9	25	82,442	5.81	3.64
沼津市	沼津市立図書館	11,440	195,039	60.7	23	366,797	5.87	3.12
富士市	富士市立中央図書館	8,781	253,410	64	43	656,980	3.47	1.34
富士宮市	富士宮市立中央図書館	3,802	132,651	31	75	339,779	2.87	1.12
静岡市	静岡市立中央図書館	5,343	699,946	50.2	25	324,671	0.76	1.65
焼津市	焼津市立焼津図書館	1,422	139,217	15	29	191,407	1.02	0.74
藤枝市	藤枝市立駅南図書館	3,300	144,941	30.7	33	352,054	2.28	0.94
島田市	島田市立島田図書館	2,524	98,546	28	22	144,257	2.56	1.75
牧之原市	牧之原市立相良図書館	89	45,818	8.1	50	18,332	0.19	0.49
御前崎市	御前崎市立図書館	3,452	32,541	18.3	33	147,583	10.61	2.34
菊川市	菊川市立小笠図書館	1,279	48,319	9	33	105,723	2.65	1.21
掛川市	掛川市立中央図書館	4,611	117,978	21.7	38	303,240	3.91	1.52
磐田市	磐田市立中央図書館	3,559	169,725	26.6	30	255,905	2.10	1.39
袋井市	袋井市立袋井図書館	1,814	88,221	20.5	50	199,906	2.06	0.91
湖西市	湖西市立中央図書館	2,474	59,640	10	100	140,218	4.15	1.76
浜松市	浜松市立中央図書館	5,163	802,728	60	44	339,767	0.64	1.52

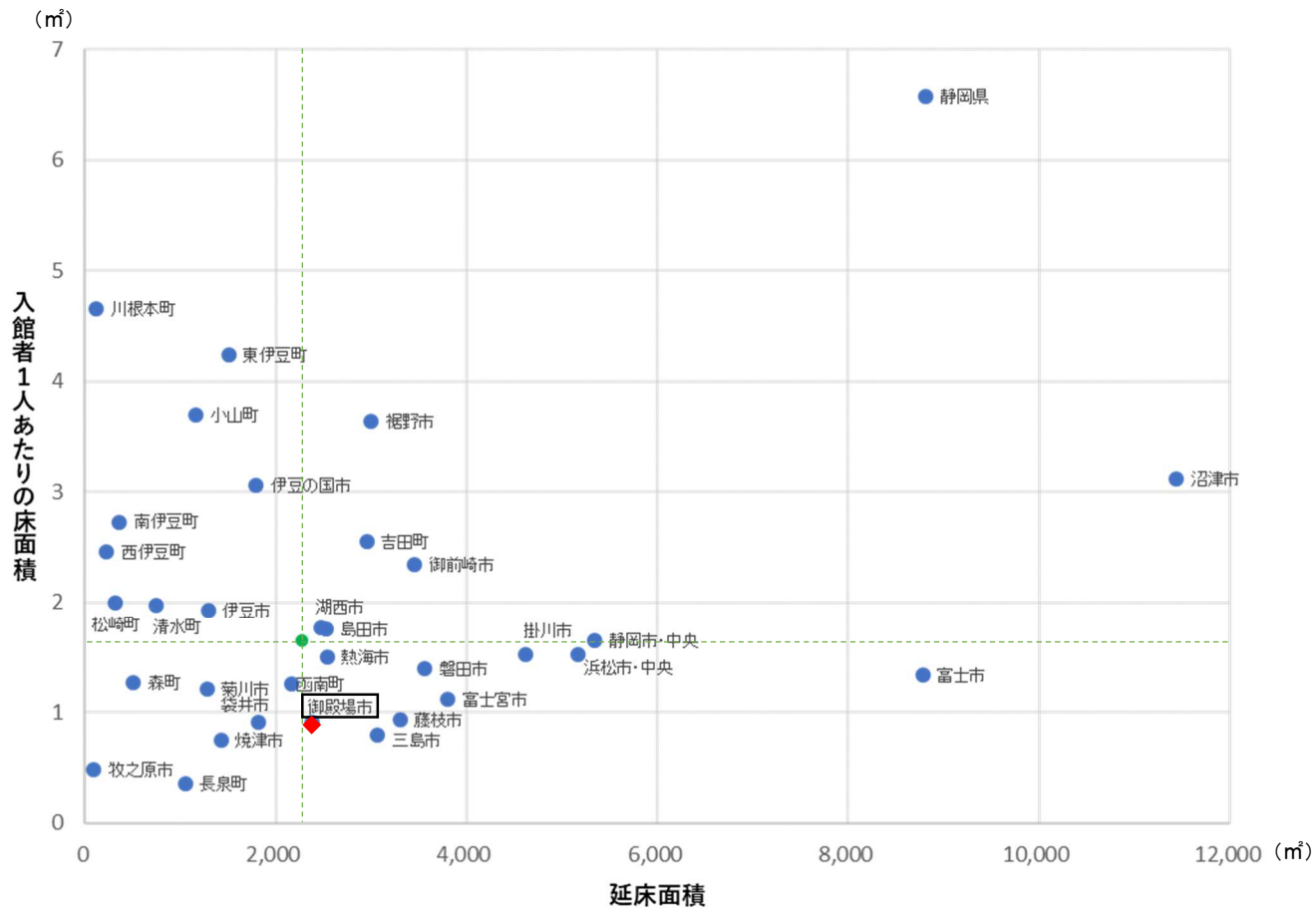
自治体名	図書館名	延床面積 (㎡)	奉仕人口	職員数 (人)	司書 比率 (%)	入館者数 (年度実績)	奉仕人口1人 あたりの床面積 (㎡)	入館者1人 あたりの床面積 (㎡)
東伊豆町	東伊豆町立図書館	1,507	12,162	6	33	35,512	12.39	4.24
河津町	河津町立文化の家	491	7,228	5	—	—	6.79	—
南伊豆町	南伊豆町立図書館	362	8,268	4	—	13,256	4.38	2.73
松崎町	松崎町立図書館	320	6,602	2	—	16,031	4.85	2.00
西伊豆町	西伊豆町立図書館	226	7,872	6	—	9,183	2.87	2.46
函南町	函南町立図書館	2,162	37,722	16	100	172,691	5.73	1.25
清水町	清水町立図書館	749	32,510	5	25	37,894	2.30	1.98
長泉町	長泉町民図書館	1,051	43,301	8.8	—	298,441	2.43	0.35
小山町	小山町立図書館	1,163	18,472	4.4	—	31,424	6.30	3.70
吉田町	吉田町立図書館	2,955	29,636	12	67	115,876	9.97	2.55
森町	森町立図書館	510	18,384	5.1	—	40,238	2.77	1.27
川根本町	川根本町文化会館図書室	115	6,789	6	—	2,468	1.69	4.66
平均値		2,646					3.94	2.04

出典：静岡県立図書館ホームページ

■奉仕人口 1 人あたりの床面積と延床面積



■入館者 1 人あたりの床面積と延床面積



3) 県内の図書館における蔵書水準

○蔵書数は27.4万冊で、県内の35市町の中央図書館中11番目、個人貸出冊数は51.4万冊で、県内の35市町の中央図書館中10番目となっています。

■県内の公立図書館のサービス状況（平成30年度）

自治体名	中央館	図書館名	蔵書数	受入雑誌 (タイトル数)	登録者数 (累計)	個人貸出 冊数	団体貸出 冊数	予約・リクエスト 冊数
静岡県	●	静岡県立中央図書館	855,779	2,012	76,215	62,755	—	16,222
下田市	●	下田市立図書館	98,334	25	10,521	47,771	1,118	2,134
伊東市	●	伊東市立伊東図書館	184,728	96	32,672	199,234	6,645	14,055
熱海市	●	熱海市立図書館	171,891	96	17,562	107,833	3,730	5,607
伊豆市	●	伊豆市立修善寺図書館	111,003	47	10,466	105,902	3,234	4,129
		伊豆市立中伊豆図書館	23,899	20	1,857	15,046	176	1,120
		伊豆市立天城図書館	17,920	18	500	3,683	84	227
		伊豆市立土肥図書館	27,302	19	847	9,316	252	918
伊豆の国市	●	伊豆の国市立中央図書館	124,014	57	19,673	175,323	5,618	1,220
		伊豆の国市立葦山図書館	65,146	40	*	*	3,233	1,436
三島市	●	三島市立図書館	431,553	342	41,375	656,300	6,904	36,027
		三島市立図書館中郷分館	42,429	96	*	101,607	1,655	7,768
御殿場市	●	御殿場市立図書館	274,436	115	49,360	514,665	11,898	9,308
裾野市	●	裾野市立鈴木図書館	207,104	243	23,119	222,031	—	6,940
		裾野市民文化センター図書室	26,666	56	*	37,119	130	3,275
沼津市	●	沼津市立図書館	528,339	388	177,028	826,513	8,775	40,470
		沼津市立戸田図書館	36,604	27	-	7,144	286	2,430
富士市	●	富士市立中央図書館	789,544	263	190,859	1,236,925	24,210	127,590
		富士市立西図書館	121,644	77	—	341,224	—	8,402
		富士市立東図書館	69,699	68	—	117,817	—	3,844
		富士市立富士文庫	113,100	64	—	131,823	—	5,090
富士宮市	●	富士宮市立中央図書館	425,506	229	114,719	733,376	10,718	49,565
		富士宮市立西富士図書館	68,688	67	*	98,937	3,738	6,418
		富士宮市立芝川図書館	53,173	66	*	95,833	1,741	6,663
静岡市	●	静岡市立中央図書館	473,333	506	26,711	778,846	4,591	78,161
		静岡市立中央図書館麻機分館	64,588	39	2,274	85,778	382	9,099
		静岡市立中央図書館美和分館	61,805	56	1,336	67,100	253	8,763
		静岡市立御幸町図書館	154,213	342	21,242	394,961	352	90,087
		静岡市立藁科図書館	96,406	84	5,555	130,869	1,558	12,915
		静岡市立南部図書館	224,293	163	28,591	843,657	2,141	110,053

自治体名	中央館	図書館名	蔵書数	受入雑誌 (タイトル数)	登録者数 (累計)	個人貸出 冊数	団体貸出 冊数	予約・リクエスト 冊数
		静岡市立西奈図書館	174,930	111	11,475	350,876	382	36,735
		静岡市立長田図書館	167,668	102	13,794	354,330	2,946	42,250
		静岡市立北部図書館	116,325	98	9,478	257,694	899	18,811
		静岡市立清水中央図書館	489,594	396	25,076	587,296	316	80,087
		静岡市立清水興津図書館	135,541	66	7,492	181,860	4,273	20,709
		静岡市立蒲原図書館	99,223	87	3,886	87,340	3,274	11,637
焼津市	●	焼津市立焼津図書館	238,107	111	52,412	504,042	23,576	64,584
		焼津市立大井川図書館	129,318	109	*	190,127	6,355	6,816
藤枝市	●	藤枝市立駅南図書館	374,183	155	129,946	651,366	3,150	53,571
		藤枝市立岡出山図書館	141,344	900	*	233,828	42,838	15,144
		藤枝市立岡部図書館	59,581	16	*	77,741	1,117	5,035
島田市	●	島田市立島田図書館	273,175	116	61,122	408,610	5,247	33,576
		島田市立金谷図書館	107,286	60	*	139,178	2,699	4,047
		島田市立川根図書館	41,250	29	*	34,162	1,752	1,540
牧之原市	●	牧之原市立相良図書館	39,795	12	9,942	37,376	2,150	1,235
		牧之原市立榛原図書館	34,645	9	3,961	33,517	1,757	680
御前崎市	●	御前崎市立図書館	277,374	120	22,336	359,918	4,892	8,152
菊川市		菊川市立図書館菊川文庫	133,478	75	15,237	227,196	4,403	9,233
	●	菊川市立小笠図書館	125,690	77	15,924	154,088	5,413	4,282
掛川市	●	掛川市立中央図書館	343,172	107	81,690	628,568	41,758	74,969
		掛川市立大須賀図書館	102,022	37	6,449	63,907	20,046	3,657
		掛川市立大東図書館	195,541	51	9,900	200,158	22,288	13,517
磐田市	●	磐田市立中央図書館	351,568	146	46,859	610,045	30,102	68,643
		磐田市立福田図書館	110,395	67	10,935	192,576	5,853	17,107
		磐田市立竜洋図書館	124,734	77	13,222	197,261	8,306	14,769
		磐田市立豊岡図書館	62,682	50	4,156	44,865	107	4,268
		磐田市ひと・ほんの庭にこっと	106,805	69	16,651	166,202	2,445	13,164
袋井市	●	袋井市立袋井図書館	225,469	131	72,989	378,672	13,429	43,216
		袋井市立浅羽図書館	88,417	82	—	147,157	2,800	4,832
湖西市	●	湖西市立中央図書館	167,730	87	20,305	274,399	6,036	14,849
		湖西市立新居図書館	101,748	63	—	126,254	4,050	—
浜松市	●	浜松市立中央図書館	348,820	302	22,823	703,803	31,505	657,219
		浜松市立城北図書館	458,992	287	22,690	551,265	46,517	26,137
		浜松市立南図書館	67,951	44	6,471	157,828	7,070	8,540
		浜松市立西図書館	65,899	39	6,444	187,720	8,882	8,400

自治体名	中央館	図書館名	蔵書数	受入雑誌 (タイトル数)	登録者数 (累計)	個人貸出 冊数	団体貸出 冊数	予約・リクエスト 冊数
浜松市		浜松市立積志図書館	74,330	34	9,385	233,411	2,021	11,132
		浜松市立東図書館	81,266	36	9,714	211,526	4,742	10,916
		浜松市立北図書館	88,996	37	10,850	239,674	2,372	11,037
		浜松市立南陽図書館	62,432	44	5,444	130,858	3,927	7,063
		浜松市立可新図書館	77,227	43	9,322	205,715	3,588	8,502
		浜松市立はまゆう図書館	80,326	74	9,775	258,502	3,237	8,162
		浜松市立浜北図書館	252,648	117	20,555	383,943	7,927	17,749
		浜松市立天竜図書館	139,236	31	3,588	82,962	6,868	4,378
		浜松市立舞阪図書館	71,172	36	2,822	64,426	6,617	3,505
		浜松市立雄踏図書館	69,924	41	6,058	158,951	8,629	7,650
		浜松市立細江図書館	125,424	80	6,344	138,202	4,330	5,803
		浜松市立引佐図書館	76,058	32	2,801	58,045	9,530	2,442
		浜松市立三ヶ日図書館	82,489	51	2,819	60,983	4,526	2,218
		浜松市立春野図書館	39,931	28	616	11,392	1,513	1,260
		浜松市立佐久間図書館	22,883	17	575	5,184	580	708
		浜松市立水窪図書館	15,146	7	265	2,650	412	438
		浜松市立龍山図書館	8,717	11	57	372	1	76
	浜松市立流通元町図書館	38,357	59	4,723	173,153	6,051	6,989	
	浜松市立都田図書館	59,796	97	6,095	305,582	9,362	7,435	
東伊豆町	●	東伊豆町立図書館	102,718	60	13,672	71,037	11,943	1,055
河津町	●	河津町立文化の家	37,513	26	6,688	37,318	4,281	207
南伊豆町	●	南伊豆町立図書館	78,027	19	-	55,552	6,300	1,945
松崎町	●	松崎町立図書館	31,621	30	6,480	31,681	1,307	1,140
西伊豆町	●	西伊豆町立図書館	33,836	22	2,685	15,098	940	147
函南町	●	函南町立図書館	131,782	186	18,282	318,409	3,916	7,525
清水町	●	清水町立図書館	62,025	64	15,176	80,144	1,183	2,442
長泉町	●	長泉町民図書館	140,836	165	12,570	246,742	5,997	6,765
小山町	●	小山町立図書館	111,850	39	18,154	55,877	2,215	573
吉田町	●	吉田町立図書館	124,355	100	39,513	182,663	4,767	6,792
森町	●	森町立図書館	89,915	44	9,124	77,031	16,713	1,762
川根本町	●	川根本町文化会館図書室	24,448	44	363	5,994	0	-

出典：静岡県立図書館ホームページ

4) 県内の図書館における設備・機器水準

○個人 PC が利用可能なスペースや対面朗読室、AV 視聴用機器なども整備されており、近隣では、三島市、沼津市、富士宮市、富士市に次いで充実しているといえます。

■県内の公立図書館の設備状況（平成 30 年度）

自治体名	中央館	図書館名	個人 PC 使用可能席	学習室	対面朗読室	AV 視聴用機器	拡大器	活字読みあげ機	DAISY 再生機器	自動車図書館台数
静岡県	●	静岡県立中央図書館	○	○		○	○	○		
下田市	●	下田市立図書館					○			
伊東市	●	伊東市立伊東図書館	○				○	○		1
熱海市	●	熱海市立図書館	○	○		○				1
伊豆市	●	伊豆市立修善寺図書館			○	○				
		伊豆市立中伊豆図書館				○				
		伊豆市立天城図書館				○				
		伊豆市立土肥図書館		○		○				
伊豆の国市	●	伊豆の国市立中央図書館				○				
		伊豆の国市立葦山図書館								
三島市	●	三島市立図書館	○	○	○	○	○	○	○	1
		三島市立図書館中郷分館				○				
御殿場市	●	御殿場市立図書館	○	○	○	○	○			1
裾野市	●	裾野市立鈴木図書館		○	○	○	○	○		
		裾野市民文化センター図書室								
沼津市	●	沼津市立図書館	○	○	○	○	○	○	○	1
		沼津市立戸田図書館		○		○				
富士市	●	富士市立中央図書館	○	○	○	○	○		○	1
		富士市立西図書館	○	○			○			
		富士市立東図書館								
		富士市立富士文庫		○						
富士宮市	●	富士宮市立中央図書館	○	○	○	○	○	○	○	2
		富士宮市立西富士図書館				○				
		富士宮市立芝川図書館	○	○		○	○			
静岡市	●	静岡市立中央図書館	○		○	○	○		○	1
		静岡市立中央図書館麻機分館								
		静岡市立中央図書館美和分館	○							
		静岡市立御幸町図書館	○		○					
		静岡市立藁科図書館								
		静岡市立南部図書館	○		○	○	○			
		静岡市立西奈図書館	○		○	○	○			

自治体名	中央館	図書館名	個人PC 使用 可能席	学習室	対面 朗読室	AV 視聴用 機器	拡大器	活字読み あげ機	DAISY 再生機器	自動車 図書館 台数
静岡市		静岡市立長田図書館	○		○		○			
		静岡市立北部図書館	○				○	○		
		静岡市立清水中央図書館	○		○	○				
		静岡市立清水興津図書館	○							
		静岡市立蒲原図書館	○	○		○				
焼津市	●	焼津市立焼津図書館	○			○	○		○	
		焼津市立大井川図書館			○	○				
藤枝市	●	藤枝市立駅南図書館	○		○	○	○	○	○	
		藤枝市立岡出山図書館								
		藤枝市立岡部図書館								
島田市	●	島田市立島田図書館	○	○		○	○			
		島田市立金谷図書館	○	○		○	○			
		島田市立川根図書館	○	○		○	○			
牧之原市	●	牧之原市立相良図書館								1
		牧之原市立榛原図書館								
御前崎市	●	御前崎市立図書館	○			○	○		○	
菊川市		菊川市立図書館菊川文庫	○	○	○		○		○	1
	●	菊川市立小笠図書館	○		○	○	○			
掛川市	●	掛川市立中央図書館	○	○	○	○	○		○	1
		掛川市立大須賀図書館		○	○	○			○	
		掛川市立大東図書館	○			○			○	1
磐田市	●	磐田市立中央図書館	○		○	○			○	
		磐田市立福田図書館	○	○		○				
		磐田市立竜洋図書館		○		○	○			
		磐田市立豊岡図書館				○				1
		磐田市ひと・ほんの庭にこっと		○			○			
袋井市	●	袋井市立袋井図書館	○	○	○	○	○	○	○	
		袋井市立浅羽図書館	○			○	○	○		
湖西市	●	湖西市立中央図書館	○	○						
		湖西市立新居図書館		○						
浜松市	●	浜松市立中央図書館			○		○			
		浜松市立城北図書館	○	○	○	○	○	○		2
		浜松市立南図書館								
		浜松市立西図書館								
		浜松市立積志図書館								
		浜松市立東図書館								

自治体名	中央館	図書館名	個人PC 使用 可能席	学習室	対面 朗読室	AV 視聴用 機器	拡大器	活字読み あげ機	DAISY 再生機器	自動車 図書館 台数
浜松市		浜松市立北図書館								
		浜松市立南陽図書館								
		浜松市立可新図書館	○							
		浜松市立はまゆう図書館	○	○		○				
		浜松市立浜北図書館	○	○		○	○			
		浜松市立天竜図書館				○	○			1
		浜松市立舞阪図書館	○	○						
		浜松市立雄踏図書館	○	○		○				
		浜松市立細江図書館	○	○		○				
		浜松市立引佐図書館				○				1
		浜松市立三ヶ日図書館				○	○			
		浜松市立春野図書館				○				
		浜松市立佐久間図書館					○			
		浜松市立水窪図書館								
		浜松市立龍山図書館								
		浜松市立流通元町図書館	○							
		浜松市立都田図書館	○	○						

■ 町立図書館（条例制定）の設備・機器（平成30年度）

自治体名	中央館	図書館名	個人PC 使用 可能席	学習室	対面 朗読室	AV 視聴用 機器	拡大器	活字読み あげ機	DAISY 再生機器	自動車 図書館 台数
東伊豆町	●	東伊豆町立図書館	○		○	○				
河津町	●	河津町立文化の家				○	○	○		
南伊豆町	●	南伊豆町立図書館	○				○	○		
松崎町	●	松崎町立図書館				○	○			
西伊豆町	●	西伊豆町立図書館		○		○				
函南町	●	函南町立図書館	○		○	○	○		○	
清水町	●	清水町立図書館		○						
長泉町	●	長泉町民図書館				○				
小山町	●	小山町立図書館	○	○		○	○			
吉田町	●	吉田町立図書館	○	○	○	○	○	○		
森町	●	森町立図書館	○			○	○	○		

■ 町立図書館（条例未制定）の設備・機器（平成30年度）

自治体名	中央館	図書館名	個人PC 使用 可能席	学習室	対面 朗読室	AV 視聴用 機器	拡大器	活字読み あげ機	DAISY 再生機器	自動車 図書館 台数
川根本町	●	川根本町文化会館図書室								1

出典：静岡県立図書館ホームページ

(2) 図書館を取り巻く動向の整理

わたしたちを取り巻く社会の情勢は、少子高齢化・国際化の進行、高度情報化の進展する中で、大きく変化を続けています。あわせて、現在の社会では、様々な制度の変化、技術の革新が急速に進んでいるため常に新しい知識が生まれており、市民はこれまでも増して、さまざまな場面で情報を必要とし、学び続けることが求められています。また、個人のライフスタイルや嗜好の多様化及び企業・地域の抱える多面的な課題に対応するための幅広い分野の情報を効率よく得られる環境が求められています。

このような潮流が背景となり、近年図書館には、市民のニーズに対応できる情報収集拠点としての役割の強化が求められるだけでなく、市民へ多様な学習機会の提供、地域の抱える課題解決の支援などが求められています。

その一方で、スマートフォンや SNS 等を利用する娯楽が可能になったこともあり、若者の活字離れ・読書離れが進んでいます。読書は子ども達の生きる力を培う知識の源泉となることから、読書の推進に対する図書館の役割・重要性が大きく求められています。

国でも、その流れを受け、図書館法の改正（平成 20 年）、文部科学省の「望ましい基準」の改正（平成 24 年）により、時代ニーズの変貌へ対応するよう示唆してきました。

さらに近年の傾向として、民間施設を含めて施設の複合化や併設をすることで、より利用しやすい図書館としてのニーズに対応し、多くの利用者を取り込んでいる図書館が増えています。

全国の新しい図書館では、既存の図書館の役割や社会的責任の拡充に加えて、新たな役割を強化するだけでなく、郷土・歴史の情報を収集保存・発信し、まちづくりに果たす役割を図書館に持たせたり、市民が集まり、交流できる居場所（つながる場）としての場を図書館に取り入れたりするなどして、魅力ある図書館を総合的に目指す動きが強まっています。

(3) 上位計画・関連計画の位置づけ

1) 第四次御殿場市総合計画

4-2. 生涯学習と地域活動の推進

4-2-4 図書館機能の充実

図書館資料の充実に努め、施設整備を長期的な視点で検討し、市民の読書環境の充実に努めます。

また、御殿場市子ども読書活動推進計画に基づき、ブックスタート事業等を行い、子どもの読書活動を支援します。

【政策成果指標】

指標	基準値(H26)	現状値(H30)	目標値(H31)	目標値(H32)
図書館入館者数	262,618人	262,533人	277,000人	280,000人
貸し出し冊数	547,615冊	514,665冊	574,000冊	580,000冊

4-5. 歴史と文化の継承

4-5-4 郷土資料館の整備

本市の歴史と文化の調査・研究の拠点及び学習の場として郷土資料館を整備し、文化財を大切にす
る市民の意識を高めるとともに、幅広い世代に向けた郷土資料と文化の伝承を図ります。

2) 御殿場市教育振興基本計画・令和2年度御殿場市教育施策

重点施策 2. 生涯学習と地域活動の推進

主要施策 4. 図書館機能の充実

- 蔵書の充実と読書の推進
- 各種サービスの充実
- ボランティア及び近隣図書館・学校図書館との連携
- 調査研究事業の実施
- 図書館等整備基本構想の策定

重点施策 4. 歴史と文化の継承

主要施策 4. 郷土資料館の整備

- 郷土資料館に関する研究・検討
- 民俗資料収蔵庫内資料の整理・活用

3) 第2次 御殿場市子ども読書活動推進計画

第4章 第2次計画のための基本方針

6 施策の推進

②図書館における取組

- ・図書館の利用促進
- ・支援・活動エリアの拡大
- ・ボランティアの育成・支援
- ・学校での読書活動との連携
- ・図書館機能の充実
- ・障がいのある子どもへのサービスの充実
- ・施設整備
- ・図書館ネットワークの推進
- ・計画の反映

4) 令和2年度御殿場市社会教育課 主要事業

1. 図書館 【読書の普及や自発的な学習活動の支援】

①主要事業

■読書の推進

- ・蔵書の充実
- ・視聴覚資料の充実
- ・広報活動の推進

- ・子ども読書活動推進計画の検証と見直し
- ・インターネットでの蔵書検索の充実
- ・移動図書館車の活用
- ・ブックスタート事業の推進
- ・図書館のリサイクル事業

■自発的な学習活動の支援

- ・施設の整備・読書・資料相談（レファレンス）の充実
- ・図書情報の公開及び学習情報の提供
- ・ボランティア活動の場と機会の提供、地区・学校図書館との連携
- ・近隣公立図書館との広域利用やネットワーク化、IT 利用の促進

■調査研究事業

- ・古文書調査事業の推進
- ・御殿場市の歴史研究論文募集
- ・デジタル写真資料の管理と有効活用

②令和2年度事業一覧

事業名	内 容
読書推進及び利用の充実	図書館の企画展示開催等、様々な機会をとらえて読書に親しむよう PR する。特に5月のこども読書週間と11月の読書推進月間中は特別にPRする。また、健康福祉部等と連携し、親子読書普及事業を推進する。図書館の広域利用を近隣他市町と協力し推進する。
社会教育指導員の設置	社会教育の特定分野（中学生ボランティア・地方史研究等）について指導・支援にあたる。
ブックスタート事業	子育て支援、子どもの読書推進活動の一環として、保健センターの6か月児健診の受診者に絵本等を提供し、親子のふれあいと絵本へ親しみを深める。
子ども読書活動推進計画事業	「御殿場市子ども読書活動推進計画」によって会議を開催し、各種事業を実施する。
親子おはなしの会	幼児とその親を対象に絵本の読み聞かせ・紙芝居などを行い、本の楽しさを伝え、親子の読書週間を培う。
文学講座	文学を学ぶことにより、広く文化への理解を深め、より高度な学習や読書へ誘う。古典文学講座を開催。
文学散歩	文学作品に関する文学碑、史跡、資料館などを探訪する。
地方史研究の審査	令和元年度に募集した御殿場市の歴史を調査研究した論文を審査し、佳作以上の作品を「地方史研究」に掲載し発表する。審査員は横浜国立大学名誉教授の松元宏先生。「地方史研究」の発刊は令和3年度の予定。
統計グラフ教室	夏休み宿題相談コーナーの一環として、小学生が統計グラフのテーマの選択や資料収集の仕方、グラフの書き方などを学ぶ。
夏休み宿題相談コーナー	レファレンス業務の一環として、小中学生の宿題や総合的学習の相談にのり、適切な資料を紹介し援助する。
図書館資料等のリサイクル	除籍資料や市民からリサイクルを依頼された資料を希望者に無料で提供する。図書館まつりや生活フェアにもリサイクルブックコーナーを設けて参加。
図書館等整備基本構想策定事業	図書館等整備基本構想策定懇話会を組織し、委託により令和元・2年度の2年間で基本構想を策定する。

事業名	内 容
中高生ボランティア及び体験学習	中高生が図書館業務を体験することにより、図書館サービスの理解を深める。
(※)図書館ボランティアの会	図書館で子どもを対象に「おはなし広場」を開催し、絵本等の読み聞かせを行っている。また、ブックスタート事業の運営に全面的に協力している。
(※)くろつぐみの会	視覚障害者に対する奉仕活動として、広報ごてんば・市議会だよりや図書の録音 CD 作成のほか、対面朗読も行っている。
(※)古文書を読む会	御殿場市内に所在する古文書を整理・解読し地域の歴史を学び、その研究成果を発表する。

(※)図書館関係団体による自主運営事業

2. 社会教育 【第2文化財の保護と活用】

①主要事業

■文化財の保護・継承・保存とその活用

- ・文化財審議会の開催、指定文化財の保護・整備・活用、埋蔵文化財の発掘調査、出土品の保存、調査研究成果のまとめ（調査報告書等の発行）
- ・民俗資料の整理及び収蔵庫管理、富士山測候所関係資料の活用、阿部雲気流博物館資料の調査・活用
- ・郷土資料館の検討

②令和2年度事業一覧

事業名	内 容
文化財の保護と活用	指定及び国登録文化財（国5・県9・市13・国登録2・国選択1）の保存公開・啓発活動並びに賞賜金を交付する。市教育委員会所蔵資料等の保存公開を実施する。
民俗資料収蔵庫管理・運営事業	民俗資料収蔵庫の管理及び資料整理委託。隔年で燻蒸作業を実施する。

5) 御殿場市公共施設等総合管理計画

公共施設等の管理に関する基本的な考え方

■大原則：『公共施設等の数・規模：現有施設以下』

各種シミュレーションにより、公共施設等の更新には莫大な費用がかかることは明白である。よって、原則として現有施設以上の新規の取得は最小限に留め、更新に際しては、その必要性や役割を再検討する。

□基本方針①：『財政負担の縮減・平準化』

今後想定される公共施設等の大量更新に備え、長寿命化等により財政負担を縮減・平準化する。なお、縮減・平準化の検討の際には、企画部門・財政部門・その他関係部署の連携のもと「維持管理・更新」と「新規事業」とのバランス及び重要度・緊急度等を考慮しながら決定することとする。

□基本方針②：『民間活力の活用』

本計画及び固定資産台帳を公表し、市民や民間企業と公共施設等の状況を共有する。個別施設の老朽化の程度を明らかにすることにより、PFI等の提案を促進し、より効率的な施設管理に繋げる。

(4) 図書館整備に至る経過のまとめ

現図書館については建設当初から駐車場の未舗装部分を活用し、施設の拡張を図ること、また、博物館施設の建設についても行政内部で検討しましたが、利用者増大に伴う駐車場不足等の理由もあり、事業化に至りませんでした。その後の具体的な検討の経緯は以下のとおりです。

1) 平成 25 年度までは、要耐震化・老朽化へのリニューアル整備を進める予定であったが、「市立図書館耐震補強及びリニューアル計画策定基礎調査」（平成 26 年度）により、**多額の費用（約 8 億円）と 1 年 8 か月の休館が必要**なことが判明した。

2) 御殿場市立図書館整備方針策定調査（平成 27 年度）

課題事項の整理と今後の方向性の提案を行った。

- ・残存耐用年数が少なく、多大な必要経費からリニューアル改修は、投資効果面に課題がある
- ・長期休館は市民（利用者）理解が得られない
- ・改築も含め、あり方の検討の必要性

→図書館の集客力を活かした街づくりの視点で中心市街地や駅前での整備の可能性

→他の教育文化施設等との複合化

※一体的整備による相乗効果から**郷土資料館との複合施設を検討**

→地区図書館や駅前等への図書館機能の整備を進め、市域全体で分散整備を進める「市域全体図書館型」への転換を基本に民間施設への図書館機能整備や歴史資料館の併設を検討

3) 御殿場市立図書館等将来構想策定庁内検討委員会（平成 28 年 10 月～平成 30 年度）

- ・平成 28 年 10 月設置関係課統括級 7 名の委員で構成
- ・平成 29 年 4 月一部改正委員は関係課課長級 8 名で構成

それまでのリニューアル整備を行う方針から、特に、現図書館が約 28 万冊の蔵書を有し、建て替え中の代替営業が困難であることや、現在の場所に建て替えた場合の長期休館を憂慮し、移転新築を趣旨として方針変更した。図書館の現況把握、課題事項の確認を行うと共に、今後の図書館整備に必要な基本的コンセプトや理念、方針付けについて庁内検討委員会で審議・検討を継続実施し、庁内意見の集約を図った。

第2章 市民ニーズの把握

(1) 利用者アンケート結果（新たな図書館等の整備に関するアンケート）

1) 調査概要

配布期間：令和元年 9月5日 ～ 10月10日

調査方法：配布施設館内に設置

回収状況： 配布枚数／1,000枚 回収枚数／571枚 回収率／57.1%

※調査票は資料編 P.88、89 に掲載

	施設名	配付枚数	回収枚数	回収率
1	市立図書館	300	194	64.7%
2	ふじざくら	100	56	56.0%
3	樹空の森	100	7	7.0%
4	市民会館	100	52	52.0%
5	保健センター	100	94	94.0%
6	中郷館	100	57	57.0%
7	市体育館	100	99	99.0%
8	秩父宮記念公園	100	12	12.0%
	合計	1,000	571	57.1%

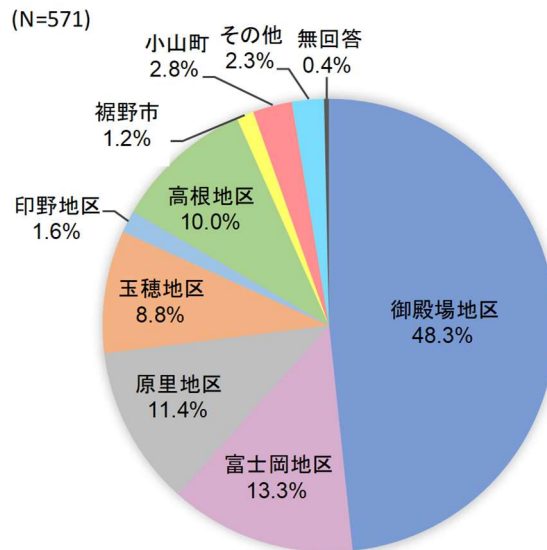


2) 調査結果

問1 あなたの住所・年齢・職業をお答えください(1つに○)

<住所>

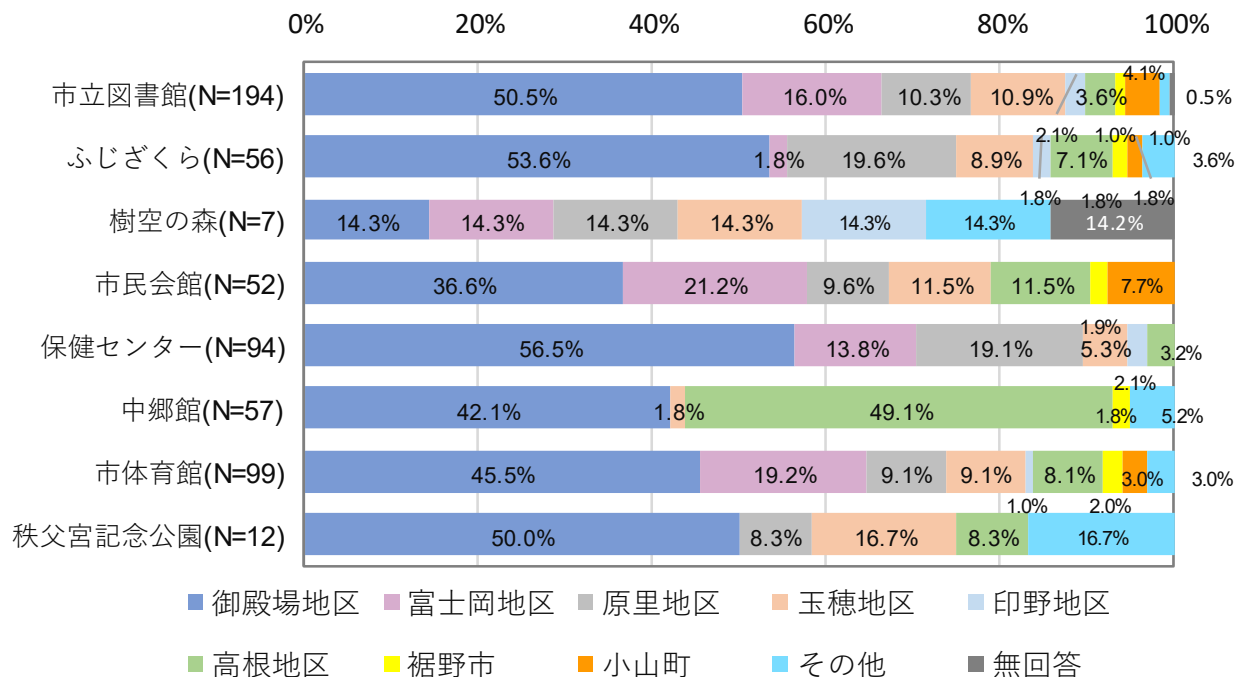
	回答数	割合
御殿場地区	276	48.3%
富士岡地区	76	13.3%
原里地区	65	11.4%
玉穂地区	50	8.8%
印野地区	9	1.6%
高根地区	57	10.0%
裾野市	7	1.2%
小山町	16	2.8%
その他	13	2.3%
無回答	2	0.4%
合計	571	100.0%



【回答の特徴】

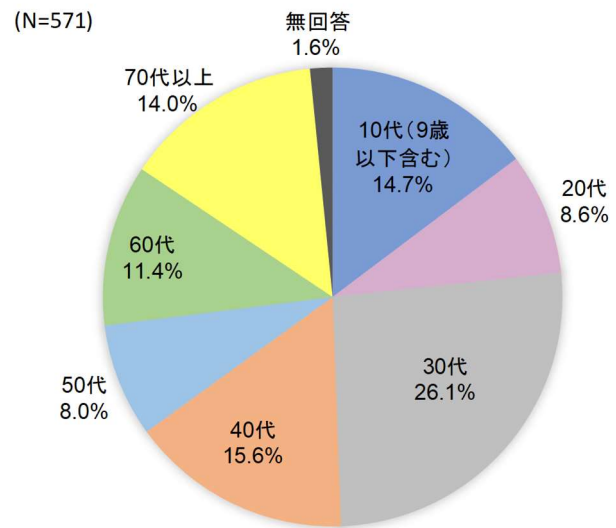
○御殿場地区の回答が多い。印野地区は少ない。

○ふじざくら及び保健センター利用者は御殿場、原里の回答が多い。



<年齢>

	回答数	割合
10代 (9歳以下含む)	84	14.7%
20代	49	8.6%
30代	149	26.1%
40代	89	15.6%
50代	46	8.0%
60代	65	11.4%
70代以上	80	14.0%
無回答	9	1.6%
合計	571	100.0%

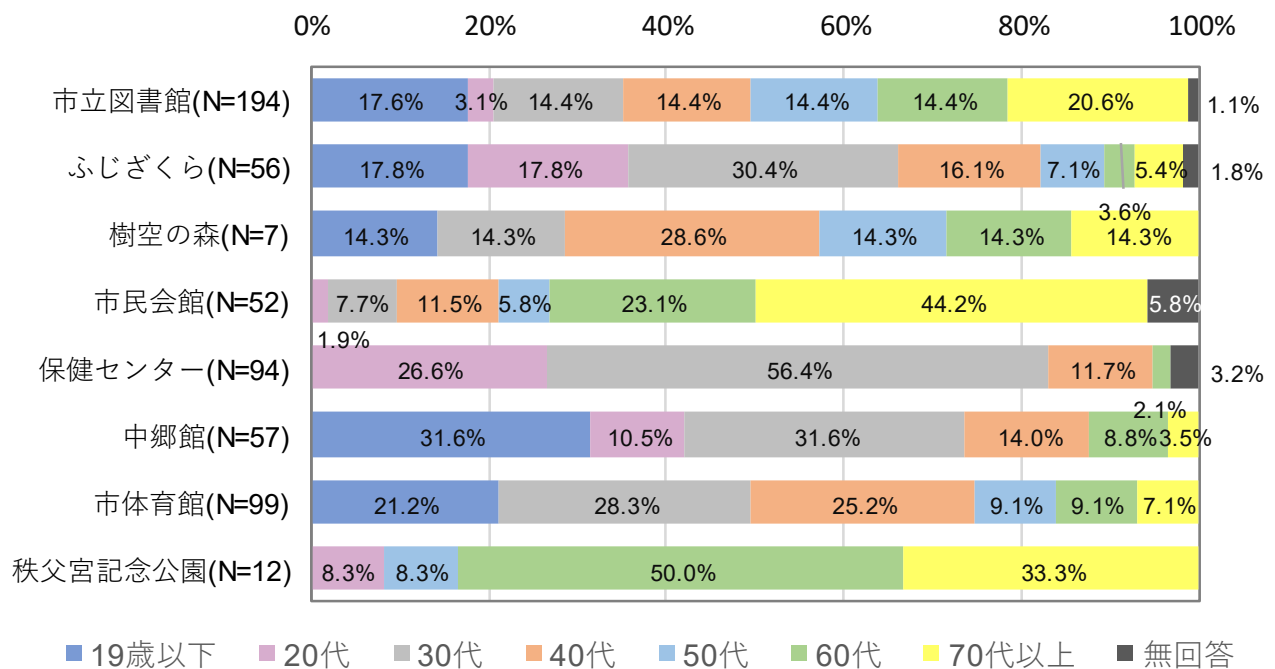


【回答の特徴】

○図書館の利用者年代は平均的に分散している。ふじざくら及び保健センターの利用者には20～30代が多い。

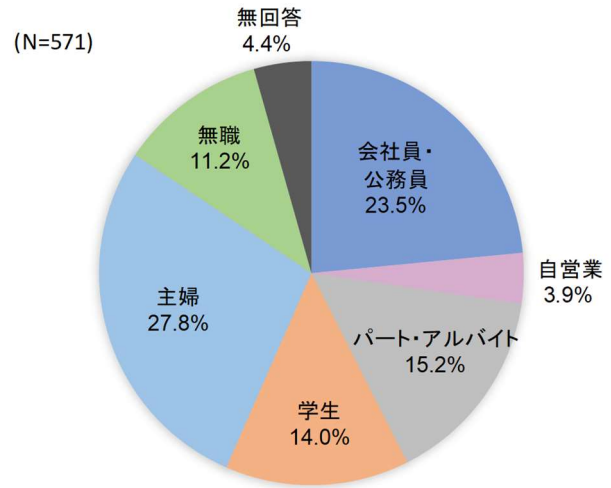
【今後の取り組みへの反映】

- =ふじざくらの現在の利用者が、図書館を利用するきっかけとなる。
- =図書館とふじざくらの連携による、子育てや教育分野等での新たな取り組み効果に可能性がある。



<職業>

	回答数	割合
会社員・公務員	134	23.5%
自営業	22	3.9%
パート・アルバイト	87	15.2%
学生	80	14.0%
主婦	159	27.8%
無職	64	11.2%
無回答	25	4.4%
合計	571	100.0%

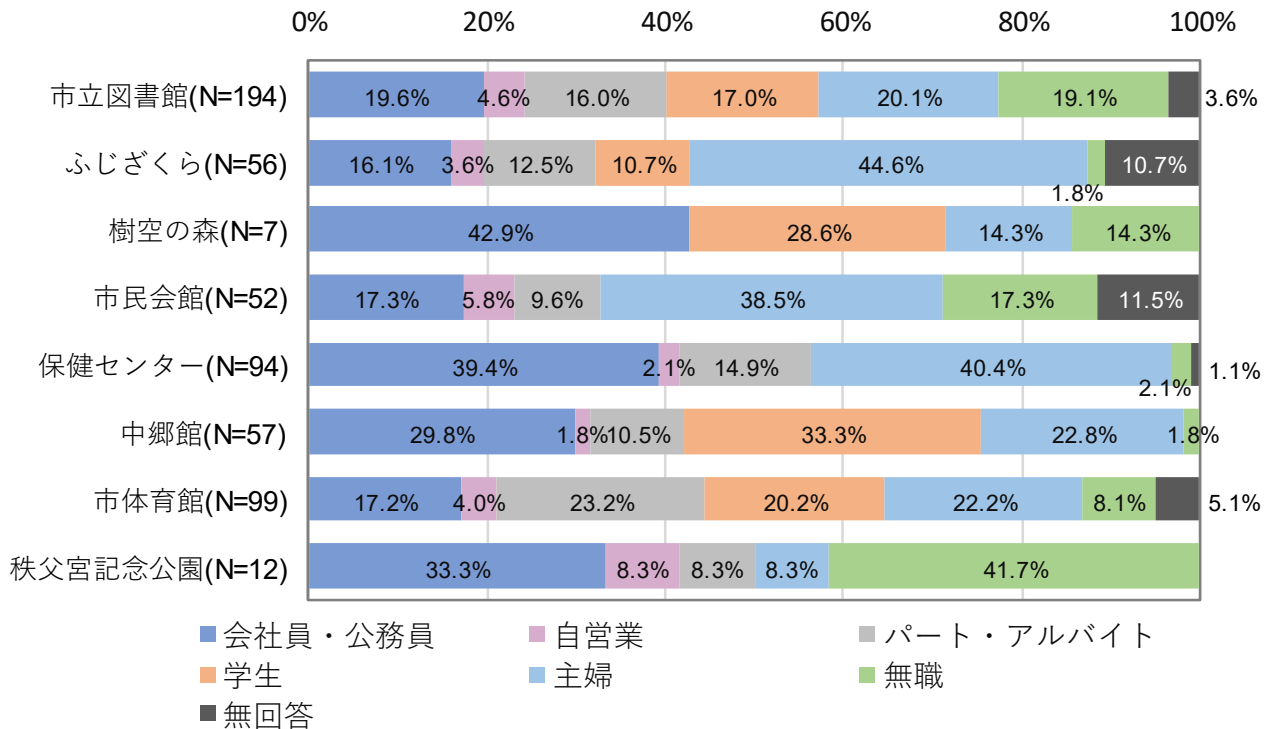


【回答の特徴】

- ふじざくら、保健センター及び市民会館は主婦（20～30代）の施設利用が多い。
- 図書館を利用する主婦の割合が少ない。

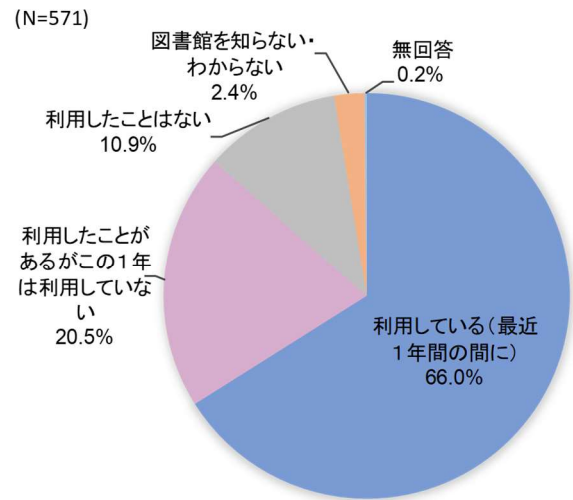
【今後の取組みへの反映】

- =ふじざくらを利用している主婦の図書館利用に可能性がある。
- =子育てに関連した併設施設に可能性がある。



問2 あなたは、御殿場市立図書館を利用したことがありますか？（1つに〇）

	回答数	割合
利用している（最近1年間の間に）	377	66.0%
利用したことがあるがこの1年は利用していない	117	20.5%
利用したことはない	62	10.9%
図書館を知らない・わからない	14	2.4%
無回答	1	0.2%
合計	571	100.0%



<ふじざくらにおける結果>

	回答数	割合
利用している（最近1年間の間に）	32	57.1%
利用したことがあるがこの1年は利用していない	14	25.0%
利用したことはない	8	14.3%
図書館を知らない・わからない	2	3.6%
無回答	0	0.0%
合計	56	100.0%

<図書館とふじざくらにおける結果を除く>

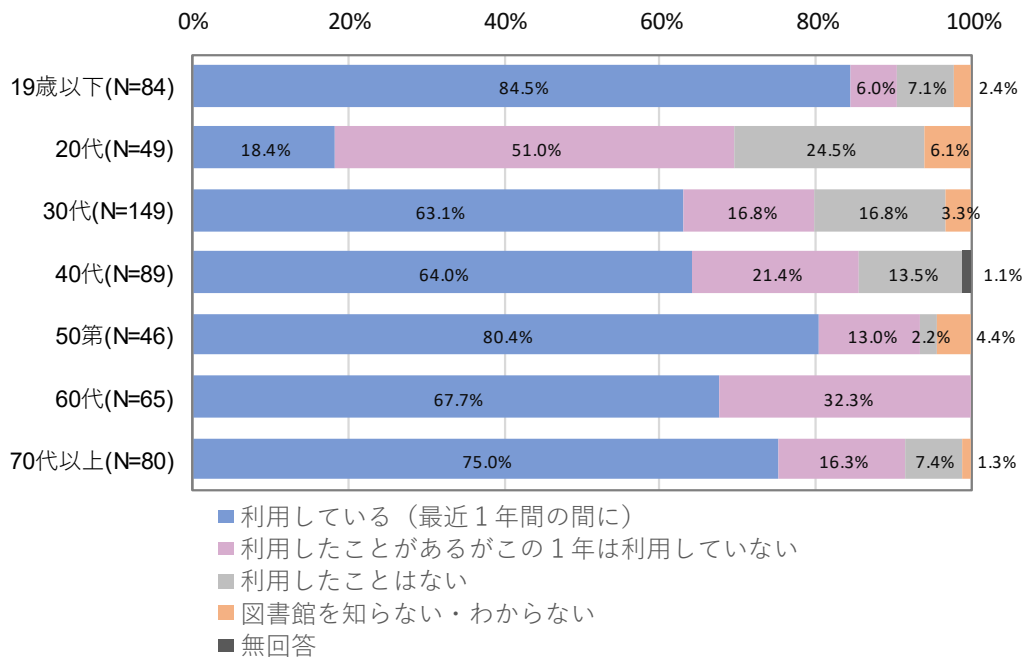
	回答数	割合
利用している（最近1年間の間に）	154	48.0%
利用したことがあるがこの1年は利用していない	102	31.8%
利用したことはない	52	16.2%
図書館を知らない・わからない	12	3.7%
無回答	1	0.3%
合計	321	100.0%

【回答の特徴】

- 利用経験は高いが、継続課題もある。
- 市民会館利用者は、施設は近いが図書館の継続利用が低迷している。
- 20代の図書館利用が低い。

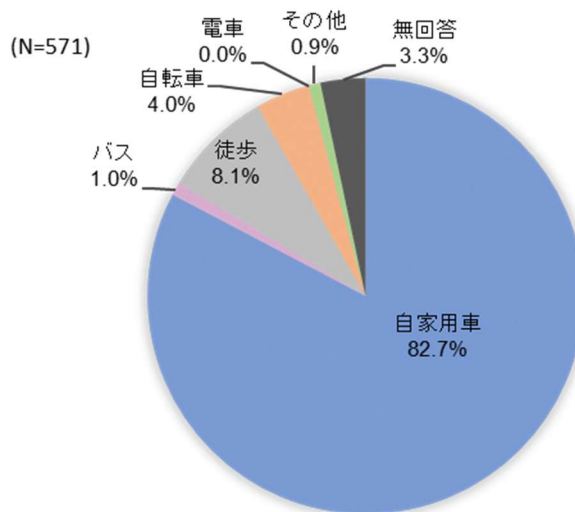
【今後の取組みへの反映】

= ふじざくらとの併設は、日常的な図書館利用増加につながる可能性がある。



問3 あなたが、御殿場市立図書館を利用する際の主な交通手段は何ですか？
(1つに○)

	回答数	割合
自家用車	472	82.7%
バス	6	1.0%
徒歩	46	8.1%
自転車	23	4.0%
電車	0	0.0%
その他	5	0.9%
無回答	19	3.3%
合計	571	100.0%



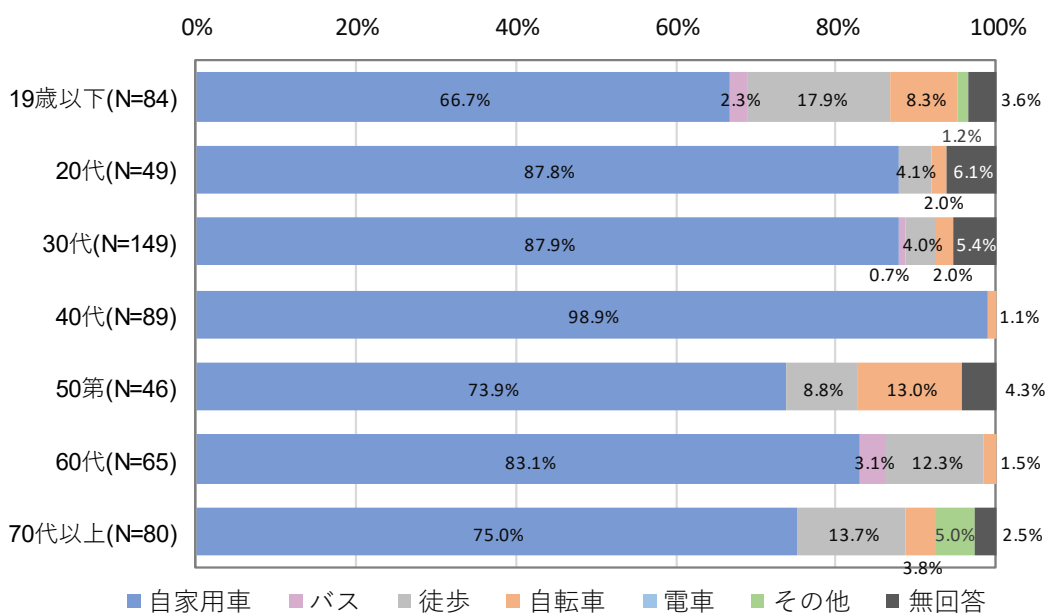
【回答の特徴】

○全体に自家用車の利用が多く、特に20~40代が顕著である。

○学生や50代以上の利用者には、徒歩・自転車・公共交通での利用もある。

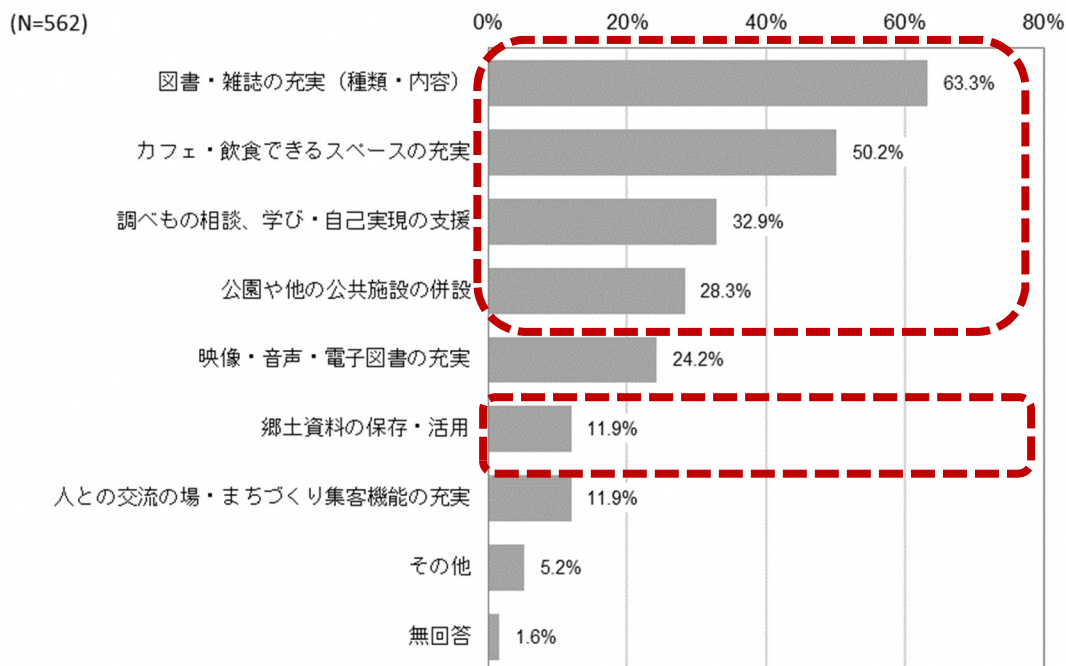
【今後の取組みへの反映】

= 徒歩・自転車・公共交通の利用者への対応が必要となる。



問4 新たな図書館に必要と思う項目・機能は次のうちどれですか？（3つまでに○）

	回答数	割合
図書・雑誌の充実（種類・内容）	356	63.3%
カフェ・飲食できるスペースの充実	282	50.2%
調べもの相談、学び・自己実現の支援	185	32.9%
公園や他の公共施設の併設	159	28.3%
映像・音声・電子図書の充実	136	24.2%
郷土資料の保存・活用	67	11.9%
人との交流の場・まちづくり集客機能の充実	67	11.9%
その他	29	5.2%
無回答	9	1.6%
合計	1290	229.5%
回答者数	562	—

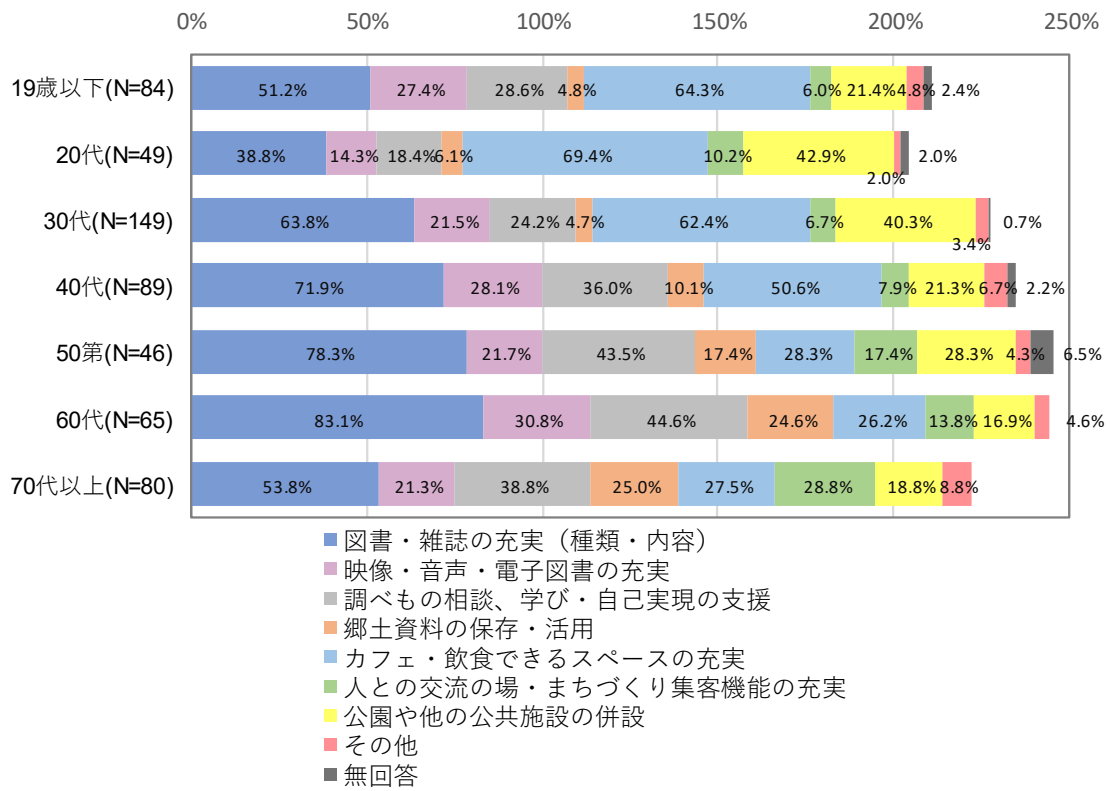


【回答の特徴】

- 図書・雑誌の充実については、6割以上が必要と感じている。
- 20～30代は図書館にカフェや公園・他の公共施設を求めている。
- 40代以上の方は年齢が上がるにつれて、調べもの相談、学び・自己実現の支援を図書館でしてほしいと考えている。
- 郷土資料の保存・活用については、40代以上で年齢が高いほど、割合が高い傾向がある。

【今後の取組みへの反映】

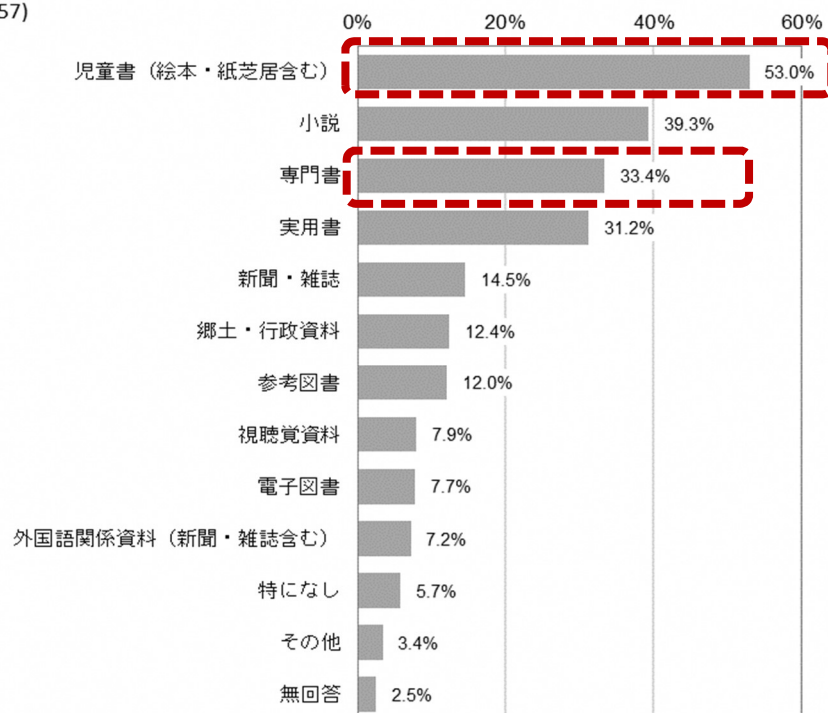
- = 比較的利用の少ない20～30代が求めるカフェや公園への対応が考えられる。
- = 40代以上の方の調べもの相談等についてのニーズの把握や対応の充実が考えられる。



問5 あなたは、今後図書館がどのような図書資料を重点的に収集すべきだと思いますか？（3つまでに○）

	回答数	割合
児童書（絵本・紙芝居含む）	295	53.0%
小説	219	39.3%
専門書	186	33.4%
実用書	174	31.2%
新聞・雑誌	81	14.5%
郷土・行政資料	69	12.4%
参考図書	67	12.0%
視聴覚資料	44	7.9%
電子図書	43	7.7%
外国語関係資料（新聞・雑誌含む）	40	7.2%
特になし	32	5.7%
その他	19	3.4%
無回答	14	2.5%
合計	1283	230.3%
回答者数	557	—

(N=557)

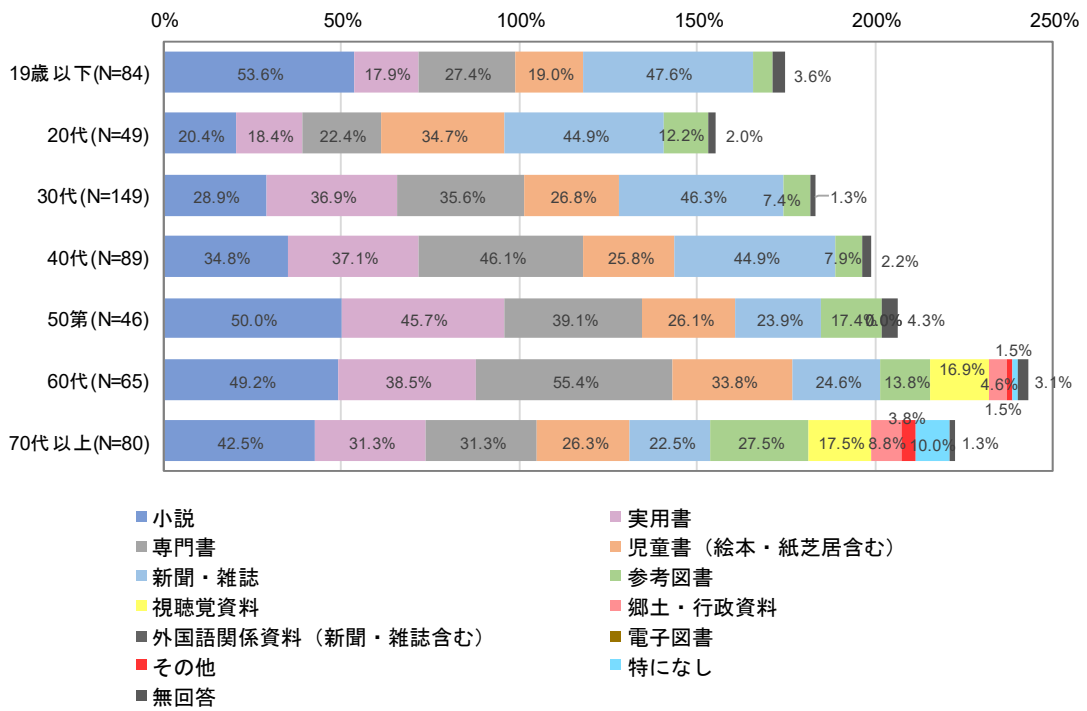


【回答の特徴】

- 全体では児童書の支持が高い（ふじざくら、保健センターの利用者、20代、60代で特に高い）。
- 30～60代で実用書、専門書の支持が高い。特に60代で実用書のニーズが高い。

【今後の取組みへの反映】

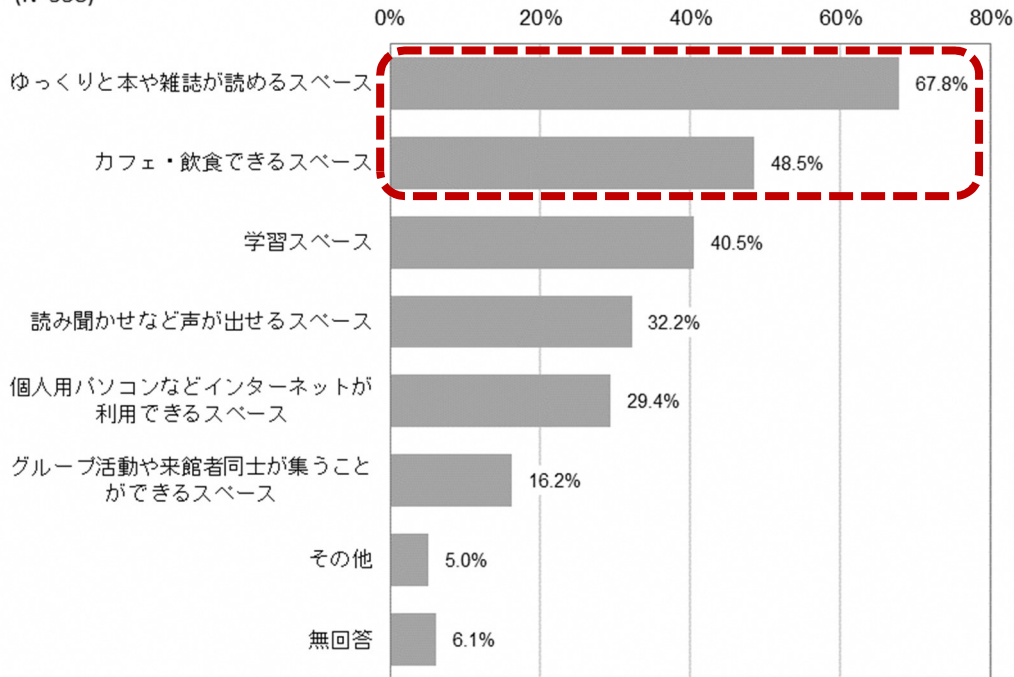
= ニーズの高い図書の充実を意識する必要がある。



問6 あなたは、新たな図書館の整備にあたり、どのようなスペースが必要だと考えますか？（3つまでに○）

	回答数	割合
ゆっくりと本や雑誌が読めるスペース	365	67.8%
カフェ・飲食できるスペース	261	48.5%
学習スペース	218	40.5%
読み聞かせなど声が出せるスペース	173	32.2%
個人用パソコンなどインターネットが利用できるスペース	158	29.4%
グループ活動や来館者同士が集うことができるスペース	87	16.2%
その他	27	5.0%
無回答	33	6.1%
合計	1322	245.7%
回答者数	538	—

(N=538)



【回答の特徴】

○飲食の有無を含めて、ゆっくりと本や雑誌が読めるスペースが求められている。

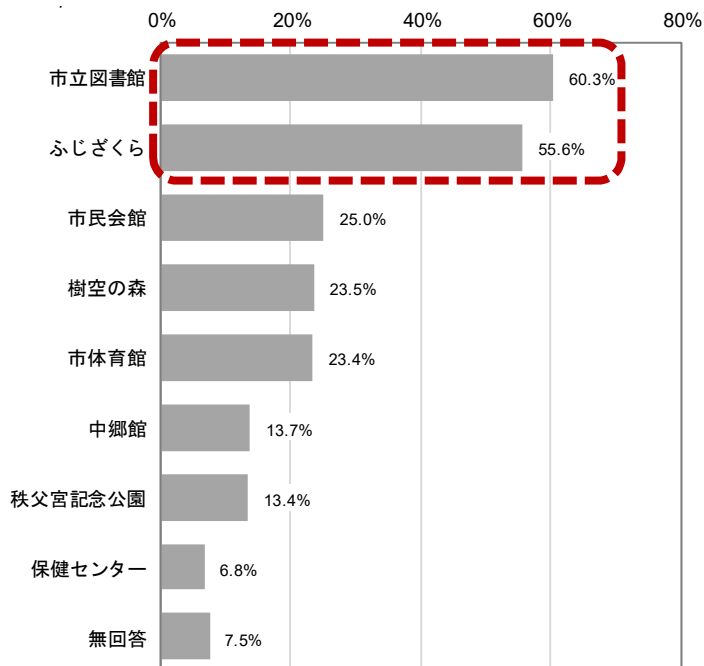
○ふじざくら、保健センター利用者を中心に読み聞かせ、カフェ等、飲食のできるスペースの対応が求められている。

【今後の取組みへの反映】

=誰もがゆったりと読書を楽しみ、くつろげるスペースの創出が考えられる。

問7 次の施設のなかで利用する機会が多いものをお答えください（3つまでに○）

	回答数	割合
市立図書館	320	60.3%
ふじざくら	295	55.6%
市民会館	133	25.0%
樹空の森	125	23.5%
市体育館	124	23.4%
中郷館	73	13.7%
秩父宮記念公園	71	13.4%
保健センター	36	6.8%
無回答	40	7.5%
合計	1177	229.2%
回答者数	531	—



【回答の特徴】

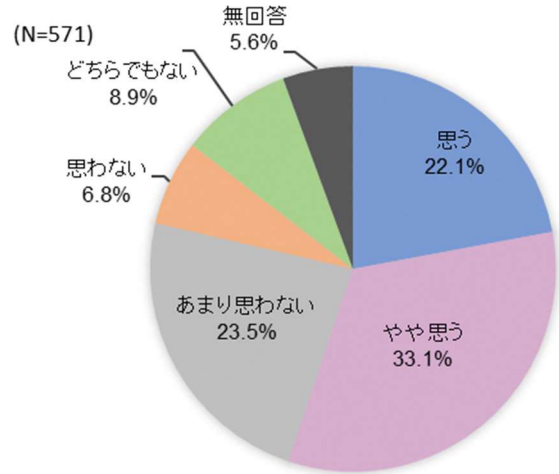
○図書館、「ふじざくら」ともに30～40代の利用が同程度に多い。50代以上は図書館の利用がやや多い。20代は「ふじざくら」の利用がやや多く、図書館の利用が少ない。

【今後の取組みへの反映】

= 利用者の多い「ふじざくら」との連携を考慮する必要がある。

問8 あなたは、郷土資料について知りたいと思いますか（1つに〇）

	回答数	割合
思う	126	22.1%
やや思う	189	33.1%
あまり思わない	134	23.5%
思わない	39	6.8%
どちらでもない	51	8.9%
無回答	32	5.6%
合計	571	100.0%



【回答の特徴】

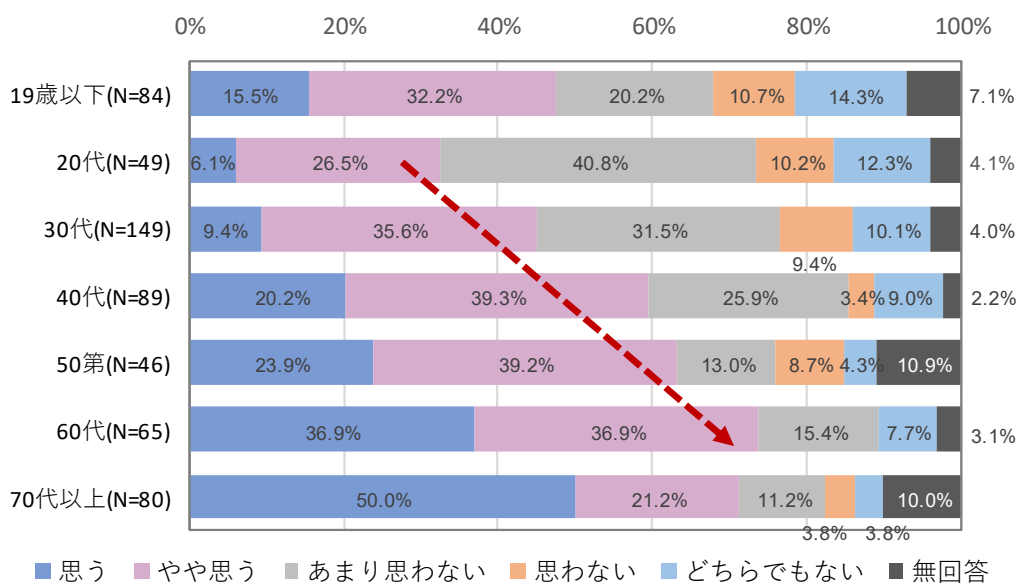
○保健センター・ふじざくらでの「知りたいと思う」割合が低い。理由として、保健センター・ふじざくらにいるような子育て世代にとって、更に郷土について知ることに對する優先度が低いことが考えられる。

○10代を除いて、年齢が上がるほど郷土資料への興味が強い傾向がある。

【今後の取組みへの反映】

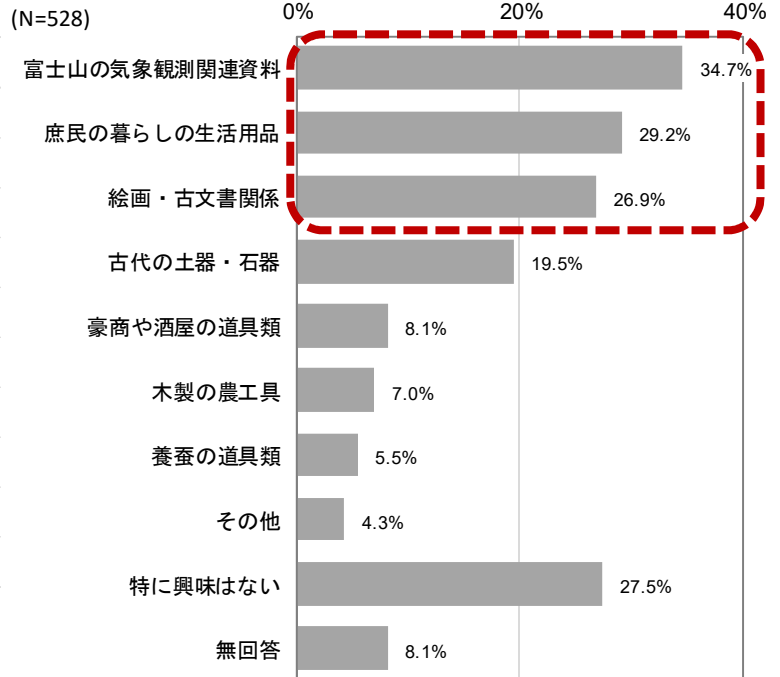
= 若者の興味を高めるような取組みが必要である（郷土の歴史を知るなど）。

（展示のヒント）御殿場泥流のボーリングコアの展示、学校教材に登場する土器や石器の展示
富士山樹空の森以外の富士山観測資料、昭和の家庭生活の再現空間 など



問9 あなたが興味のある郷土資料はどれですか（該当全てに○）

	回答数	割合
富士山の気象観測関連資料	183	34.7%
庶民の暮らしの生活用品	154	29.2%
絵画・古文書関係	142	26.9%
古代の土器・石器	103	19.5%
豪商や酒屋の道具類	43	8.1%
木製の農工具	37	7.0%
養蚕の道具類	29	5.5%
その他	23	4.3%
特に興味はない	145	27.5%
無回答	43	8.1%
合計	902	170.8%
回答者数	528	-

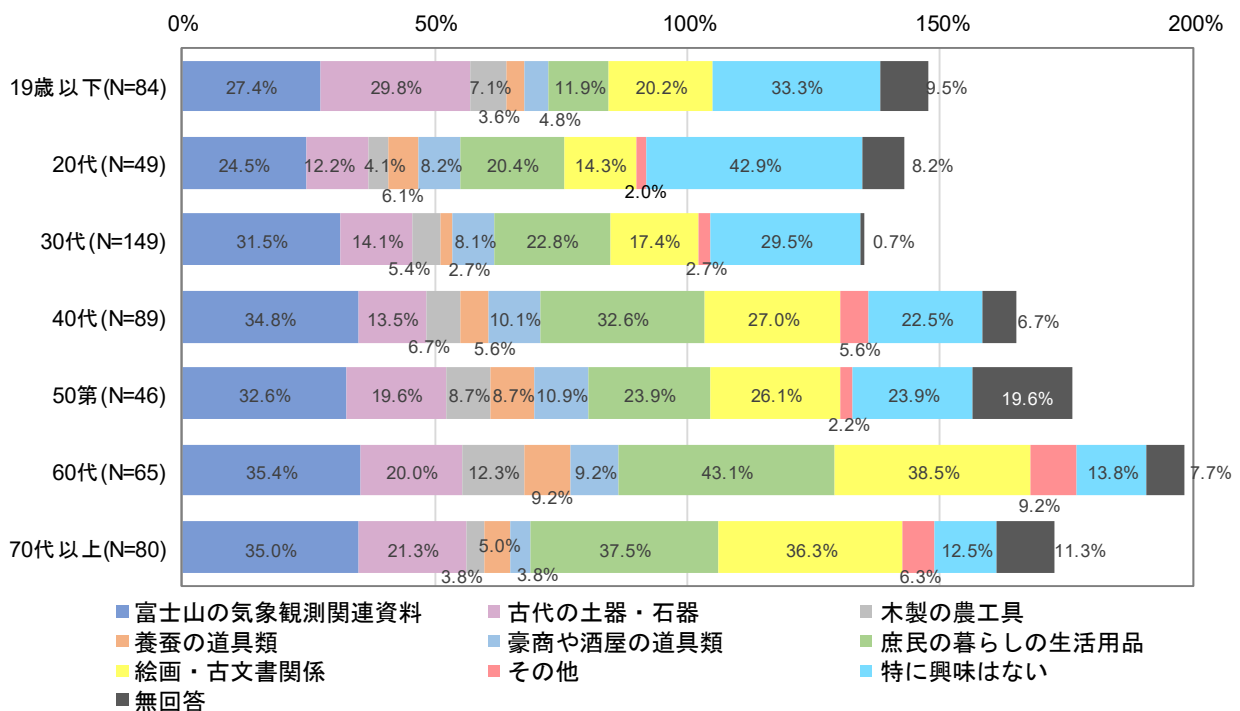


【回答の特徴】

- 富士山観測資料は各年代で興味がある。
- 図書館の利用者で、庶民の暮らしの生活用品に興味がある方が比較的多い。
- 絵画・古文書関係、庶民暮らしの生活用品は年齢が上がるほど興味がある。
- 10代は土器・石器に興味がある。

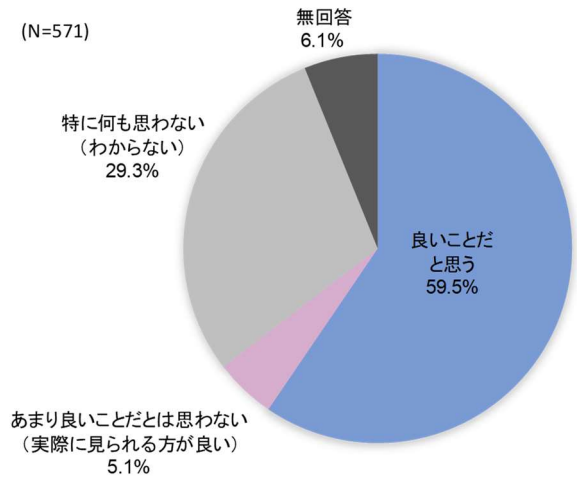
【今後の取組みへの反映】

= 富士山観測資料を幅広い年齢の方が見ることのできるよう展示する必要がある。



問 10 あなたは、デジタルアーカイブされた（される）郷土資料についてどう思いますか？（1つに○）

	回答数	割合
良いことだと思う	340	59.5%
あまり良いことだとは思わない （実際に見られる方が良い）	29	5.1%
特に何も思わない（わからない）	167	29.3%
無回答	35	6.1%
合計	571	100.0%

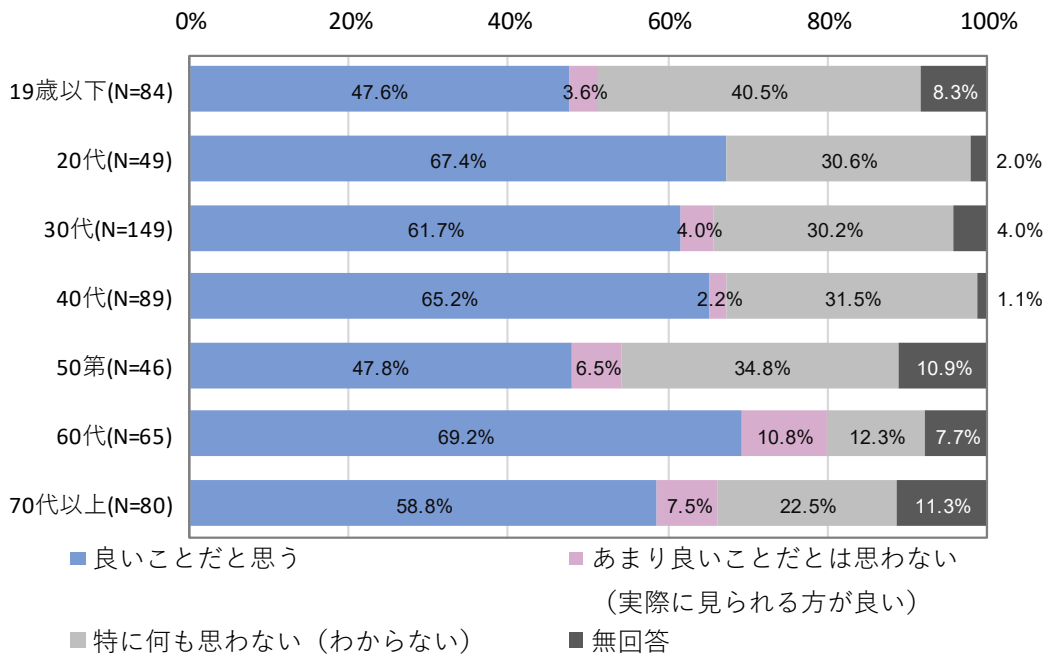


【回答の特徴】

- 約6割がデジタルアーカイブに賛成している。
- あまりよくないと思っているのは、良いと思っている方の10分の1以下。
- 年齢別の意識にはばらつきがあるが、年齢の高い方（60代以上）の方が、やや良いことだとは思っていない。

【今後の取組みへの反映】

= デジタルアーカイブを進めることに反対は少ないと考えられる。



問 11 あなたは、郷土の歴史・文化・人物等に関して誇りに思うことがありますか？

歴史

- みくりや関連の情報について調べるのが好きでした。 (御殿場 , 10代 , 学生)
- 御殿場の歴史 (御殿場 , 70代以上 , 無職)
- 歴史については特に思う (御殿場 , 10代 , 学生)
- 御殿場に住んで6年程でまだまだ知らないことが多く歴史等もあまりよく知らないのが事実です。 (富士岡 , 40代 , 主婦)
- 御殿場に暮らし、日々人々の優しさに触れ、感謝の日々です。子どもを主体とした行事も多く、歴史に触れる機会もあり、本当に素晴らしい取り組みの数々です。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。 (御殿場 , 40代 , 主婦)
- 御殿場には御殿場の由来や御厨の由来など由緒正しい逸話がたくさんある。それをもっと公表してほしい。 (富士岡 , 50代 , パート)
- 寒さも厳しく農作物も十分に収穫できなかった土地と聞いています。そのような中で様々な工夫をされこの土地を守り生き抜いてきた先人に誇りに思います。ただその様な話を見聞きする場が少ないことは残念です。 (御殿場 , 50代 , 自営業)
- 著名人の別荘が大変多かったこと (玉穂 , 60代 , パート)
- 怒る富士 御殿場音頭 どんたく (高根 , 10代 , 学生)
- 報徳の教え、富士登山に関する歴史 (御殿場 , 50代 , ー)
- 宝永火山、二宮金次郎 (富士岡 , 60代 , 無職)
- 御殿場市の成り立ちの歴史、昔より著名人がこの地を愛した史実、明治時代の著名人が小説、エッセイ等で御殿場を紹介してくれていること (御殿場 , 70代以上 , 会社員)
- 富士山の裾野の大野原との(昔からの)関わりの中での生活の歴史(特に宝永噴火後と演習場で働いてきた人々の歴史) (玉穂 , 60代 , パート)
- 富士山、駿・甲・相州の文化・物流の交わる所。古来、東西を結ぶ主要街道の地。 (御殿場 , 70代以上 , 無職)

文化

- 御殿場の歴史・文化・人物等、もっと詳しく知りたい。食文化、畑作文化、名物とかも知りたい。 (御殿場 , 30代 , 主婦)
- おそば、富士山など、過去よりも今いる人たちが楽しく豊かに暮らしていけるような場所にしてほしい。 (御殿場 , 40代 , パート)
- 厳しい自然の中、昔の人々が築いてきた文化、特に農事 (御殿場 , 70代以上 , 無職)
- 歴史で深沢の城跡を記した書物が見たいです。 (御殿場 , 70代以上 , 無職)

人物

- トータルテンボス (御殿場 , 10代 , 学生)
- 毎日霊峰富士を仰ぎ見られる土地に住んでいることをまず誇りに思います。そこで思い出すのが江戸時代に御厨地方を救った偉人伊奈半左工門忠順の事です。宝永噴火によって未曾有の被害を受けたこの地方を救った人です。また、この人の最後は余りにも悲劇的です。幕府の米蔵から許可なく住民に配ったかどで切腹になっています。今の子どもたちはこの事実をどれだけ知っているのでしょうか。伝えていくべき人物です。 (御殿場 , 60代 , 無職)
- 伊奈半左工門さんの天地返し (御殿場 , 10代 , 学生)

- 伊奈半左工門 (高根 , 10代 , 学生)
- 富士山噴火、伊奈半左工門 (高根 , 60代 , 会社員)
- 伊奈半左衛門の功績は素晴らしいと思います。 (御殿場 , 30代 , 会社員)
- 伊奈半左工門 (玉穂 , 70代以上 , 会社員)
- 市名の由来でもある徳川家康の御殿建設に関する事、報徳の精神に関する事、宝永の富士山噴火後の復興に関する事 (伊奈半左工門) (高根 , 50代 , 会社員)
- 噴火被害から復興に尽力した人達がいだからこそ現在の御殿場市の生活があると思う。 (御殿場 , 40代 , 会社員)
- 富士山、根上ツナさん (御殿場 , 40代 , 会社員)
- 賀川豊彦先生が御殿場で活動し、それに感化された人々が多くあったこと。白洲正子さんらが別荘地に来ていろいろな交流があった。 (御殿場 , 60代 , 主婦)
- 賀川豊彦、野中至、阿部正直の業績 (御殿場 , 70代以上 , 無職)
- 初代 勝又春一市長伝 (以前読みました) (御殿場 , 60代 , パート)
- 勝又春一 (御殿場 , 70代以上 , 主婦)
- 勝間田清一の生涯、歴史民俗博物館の建設は MUST です。 (玉穂 , 70代以上 , 無職)
- 賀川豊彦氏の貢献 (御殿場 , 60代 , 無職)
- 過去に同じ土地に生きた人物の歴史を知る事ができるのは有難いです。 (高根 , 30代 , 会社員)
- 先人の苦勞された努力によって我々は恩恵を受けており、感謝している。水、道路、鉄道、地域の成り立ちを含め貢献者を誇りに思います。 (御殿場 , 40代 , 会社員)
- 誇りに思います。そういうすぐれた先達の方々のお陰で現在我々の住まう土地の有りようがわかり安心安全に継がっており感謝すべき事が一杯あると思います。具体的に名前は出てきませんがそういう人物の載っている内容物に出逢うたびに感動します。 (御殿場 , 70代以上 , 無職)
- 野中至の富士山頂気象観測や二の岡の万国村等たくさんある (御殿場 , 70代以上 , 無職)

富士山

- 宝永噴火の時、再生したこと (御殿場 , 70代以上 , 無職)
- 富士山が噴火してどうなったかとかを知れることを誇りに思う (富士岡 , 10代 , 学生)
- 怒る富士 (伊奈半左工門) (高根 , 10代 , 学生)
- 富士山の大噴火について (高根 , 10代 , 学生)
- 富士山関係に興味あり (小山町 , 10代 , 学生)
- 富士の美 (原里 , 10代 , 学生)
- 富士山を誇りに思うことはややあります。 (原里 , 10代 , 学生)
- 富士山がいつも身近に見れること。水がおいしいこと。 (御殿場 , 30代 , 主婦)
- 富士山 (御殿場 , 30代 , 会社員)
- 富士山関係、別荘村関係 (原里 , 60代 , 主婦)
- あまりない。どちらかというと富士山が近いか水が美味しいとか地理的な事の方が誇りに思う。 (御殿場 , 30代 , 主婦)
- 富士山以外に味の無い田舎に集客効果のある資料があるとは思えません。富士山の資料館は他の市に既にありますよね。 (富士岡 , 40代 , 会社員)

伝統一般

- 誇りに思います (富士岡 , 70代以上 , 無職)
- 伝統のある良い街だと思います。御殿場に生まれ育ったことを誇りに思います。 (御殿場 , 10代 , 学生)
- 県外から越してきたので御殿場について知る事のできる資料があると嬉しいです。 (富士岡 , 30代 , パート)
- 知らない方が多いと思うのでアピールしてほしい (御殿場 , 40代 , 会社員)
- あまり知らないので子供がわかりやすく学べる資料があると良いと思う。 (原里 , 40代 , パート)
- 引っ越してきたのでもっと知りたいと思う (御殿場 , 40代 , 主婦)
- 郷土の歴史をしっかりと重んじると共に新しいことにもチャレンジしていく環境が素晴らしいと思います。 (御殿場 , 40代 , パート)
- 海外から来た方々へ説明するときに海外とのつながりを感じた時に嬉しく思います。もっと詳しい資料などの情報が簡単に得られたら、もっとみんな楽しくコミュニケーションをとることができていいなと思います。 (高根 , 40代 , 主婦)
- 幼稚園や小学校で、地域の方から昔の話を聞く機会を持つべきだと思う。 (富士岡 , 40代 , パート)
- 知らないことが多いので知る機会がほしいです。(広報等に乘せるとか…) (高根 , 60代 , 自営業)
- 小山町竹之下生まれで生活しています。こちらには買い物と一緒に利用させてもらっています。富士山、金時山、聖天山、宝鏡寺、孫に話せる程度には知識を得たいです。 (小山町 , 60代 , 主婦)
- 地元ではないので詳しくは知らないが興味はあります。 (富士岡 , 60代 , 会社員)
- 勉強、知識不足ですのでもっと努力します。 (御殿場 , 70代以上 , 無職)
- 郷土史の研究等は一種の「蘇生」だと考えております。次世代にどう引き継ぐかがこの市町村も懸案事項である。 (御殿場 , 70代以上 , 無職)
- 明治維新～現代 特に廃仏毀釈、王政復古、農地改革、文明開化 (御殿場 , 70代以上 , 無職)
- 御殿場、小山、裾野の伝説、郷土の発展に活躍した人物など (御殿場 , 70代以上 , ー)
- 問10。デジタルアーカイブについては、定期的に実物を公開したらよいと思う。 (高根 , 50代 , 会社員)
- 長泉文化財展示館へ何度か行きましたが、このくらいの施設が御殿場にないことは恥ずかしいことです。 (玉穂 , 70代以上 , 無職)

図書館についての意見

- 市民の声や図書館で実際に働いている人たちの意見や要望を生かした図書館にして欲しいです。 (御殿場 , 30代 , 会社員)
- 郷土資料も良いと思いますが、他の図書の実ををお願いします。 (御殿場 , 30代 , 主婦)
- 公共施設が移転することには反対です。今でも不便なのに印野やぐみさわ方面はさらに不便。駅下にも公共施設の実を切に希望します。児童館の跡地はどうなるのですか？ぜひ図書館分館を！(新橋地区) (御殿場 , 50代 , ー)
- 図書館が移転すれば歩いていけなくなります。その場合は交通手段を考えてください。 (原里 , 60代 , 無職)
- 移転先は遠くにしないで下さい。大変困ります。現在地、駅前などにしてください。上の方へは歩いていけません。 (原里 , 70代以上 , 無職)
- 75才、年間80冊以上図書館を利用して読んでいます。一番は読書が好き、二番は歩いて図書館に行けるという事。免許も返納してしまったため移転すると利用が難しくなります。現在の図書館を別館として残していただけないかと思います。 (御殿場 , 70代以上 , 無職)

(2) 関係者ヒアリング

1) 御殿場総合サービス株式会社

日 時：令和2年2月14日（金）13：00～15：30

場 所：御殿場市立図書館 館長室

対 象：御殿場総合サービス（御殿場市立図書館窓口業務受託者）

参加者：御殿場市立図書館／ 土屋館長

地域まちづくり研究所／ 鋤柄

現状・課題についての意見

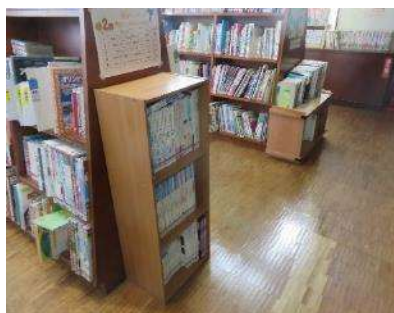
■照明・空調設備の不具合

- 天井が高いため照明（水銀灯）が暗く、補助照明を利用しても使いづらい。
- 設計当初には夜間に利用することは考えていなかった。
- 順次LED照明に切り替えている。
- 空調が行き届いていなくて夏季には2階が暑い。吹き抜け部分が原因ではないか。



■書籍の量にスペースが対応できていない

- 従来4段であった本棚を5段にしているため館内が見渡せない。
- 移動式の書庫が動線の邪魔になっている。
- 窓際にも臨時の本棚を設置している。



■座って、寛ぐことのできる図書スペースがやや不足

- 土日休日には雑誌や新聞を読むことができるスペースが不足している。もう少しあると良い。
- 平日の午後には長時間の利用も多い。
- 現在の椅子席の数〈閲覧用 61 席、読書用 24 席、2階ホール 21 席、会議室 30 席〉
- 天気の良い日には、屋外で読書を楽しむ場所があると良い。



■親子が絵本を読むことのできるスペースが必要

- フラットで、座ったり、寝転んだりできる、親子が絵本を読むことのできるスペースがあると良い。現在のテーブルと椅子は使いづらい。
- 紙芝居を借りられる仕組みは御殿場図書館スタイルとして人気がある。寛いで読み聞かせができるが良い。
- 読み聞かせのできるスペースはフラットでオープンな作りで明るい照明が良い。



■全集類のコーナーに課題がある

- 全集類は壁ぎわにあり、8段の書棚があるが、高所（5段以上）の書棚には三脚を使わないと届かない。
- 番号順に並べているので、貸出頻度の高い図書が高所に収蔵されていることがあり不便である。
- 全集は、作家別と出版社別があるが貸出頻度は低く、無駄を感じる。



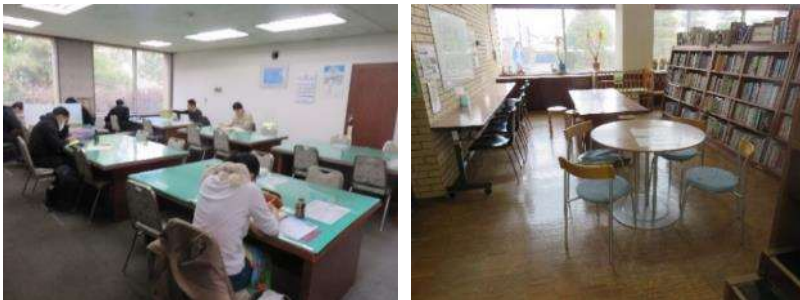
■通路が狭い

- 通路が狭く、車いす・ベビーカーの通行や、人のすれ違いに不便を感じる。
- 下2段が斜めになっている部分をまっすぐにすれば、広さが確保できる
- 特に、児童図書は、かがむとぶつかってしまう。



■児童と成人、学習スペースのゾーニングに配慮が必要

- 1階の児童コーナーの声が2階の学習スペースに影響がある。
- 2階の学習スペースは、本来はホールだった。学習するには児童の声が響いて支障がある。
- 読書スペース、視聴覚スペースの利用者には子どもの声を気にする人がいる。
- 気にする人と許容できる人がいる。むしろ子どもの親の方が気にして、子どもに注意している。
- 飲食スペースにはゾーニングが必要。



■会議室を多目的スペースにしたい

- ・各部屋の予約利用をみると、和室、録音室、休養室の使用頻度が低い。
- ・会議室は多目的スペースとして利用することとして、和室、休養室のスペースは学習支援に利用すればよい。

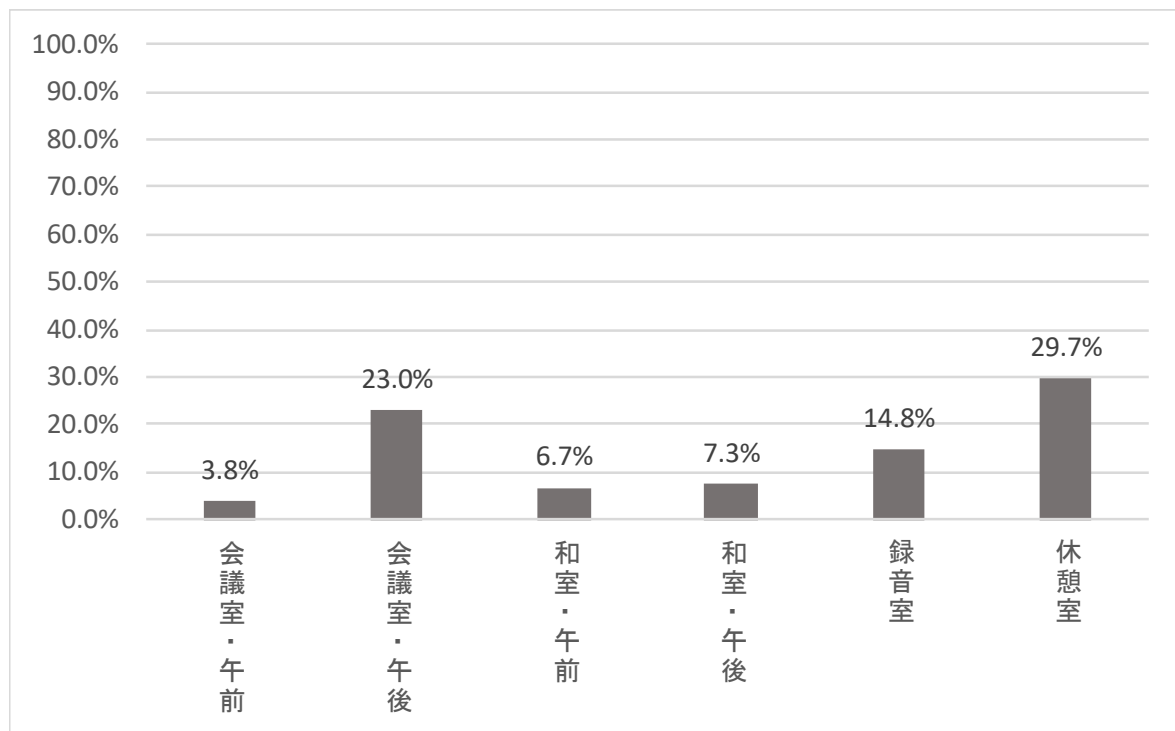
○平成 30 年度 稼働率

区分	会議室 ※1				和室 ※2				録音室		休養室 ※3		開館 日数
	午前	稼働率	午後	稼働率	午前	稼働率	午後	稼働率	-	稼働率	-	稼働率	
4月	5	17.2%	4	13.8%	3	10.3%	1	3.4%	3	10.3%	2	6.9%	29
5月	0	0.0%	7	23.3%	0	0.0%	1	3.3%	5	16.7%	5	16.7%	30
6月	0	0.0%	7	24.1%	0	0.0%	2	6.9%	5	17.2%	5	17.2%	29
7月	2	6.7%	7	23.3%	2	6.7%	0	0.0%	4	13.3%	4	13.3%	30
8月	2	6.7%	7	23.3%	0	0.0%	1	3.3%	4	13.3%	2	6.7%	30
9月	1	3.4%	8	27.6%	2	6.9%	1	3.4%	6	20.7%	12	41.4%	29
10月	0	0.0%	6	20.0%	3	10.0%	3	10.0%	5	16.7%	15	50.0%	30
11月	1	3.4%	7	24.1%	7	24.1%	8	27.6%	4	13.8%	14	48.3%	29
12月	1	4.2%	5	20.8%	1	4.2%	1	4.2%	4	16.7%	8	33.3%	24
1月	0	0.0%	4	14.8%	2	7.4%	2	7.4%	3	11.1%	14	51.9%	27
2月	1	3.7%	7	25.9%	2	7.4%	3	11.1%	3	11.1%	13	48.1%	27
3月	0	0.0%	10	33.3%	1	3.3%	2	6.7%	5	16.7%	8	26.7%	30
計	13	3.8%	79	23.0%	23	6.7%	25	7.3%	51	14.8%	102	29.7%	344

※1 会議室は学習スペースとしての利用を含んでいない

※2 和室は図書館ボランティアが利用している

※3 休養室は学習支援としての利用が中心である



■視聴覚スペースの利用頻度が低い

- 視聴覚スペースの利用頻度が下がっている。
- 視聴覚スペースは実績から見ると、今後も2~4人のブースが必要と思われる。
- CDやDVDは、著作権の都合で閲覧できるものが古いものだけになってしまう。
- 利用する人は限定的で、家でも見られる状況にあるため、設置には検討が必要である。
- データは受付や事務所で管理している。



■開架スペースにない図書を保管しておける場所が受付の近くに必要

- 開架スペースと閉架スペースは短時間で貸し出しができるよう隣接した方がよい。
- 図書管理のしやすさを考えると「ICタグ」の導入は必須になると考えられる。

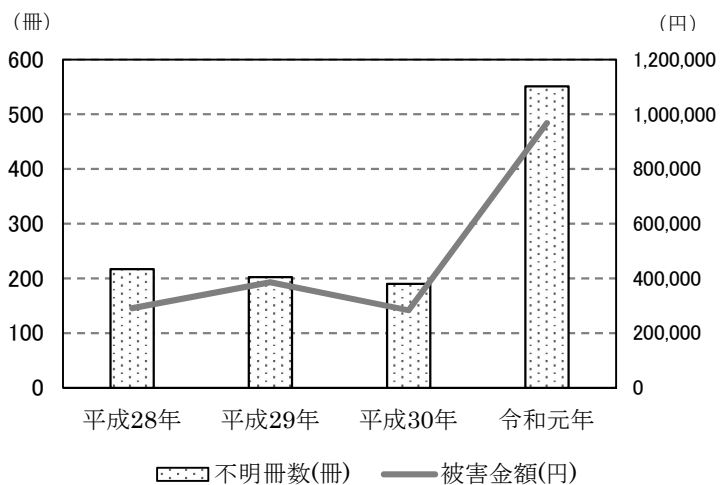
※図書ICタグの導入メリット

- 不明図書をなくすことができる。
- 貸出と返却が自分で簡単で正確にできる。
- 蔵書点検（1回/年）が短期間に正確にできる。
- 図書館の蔵書資産が一括管理できる。
- 近年開発された寿命が50年のタグを使用すれば将来的にも対応が可能。

○蔵書点検被害総額

点検年度	不明冊数 (冊)	被害金額 (円)
平成28年	217	290,421
平成29年	202	386,151
平成30年	190	283,046
令和元年	551	968,140

*金額は受入時の価格の総額とする



■ユニバーサルなスペースが必要

- おむつ替え、授乳室などのスペースがない。



整備方針に向けた意見

⇒図書収納スペースを効率的・効果的にする

- ①開架図書と閉架図書の間隔的な収納スペースを設ける
 - カウンターの近くに、出入りのしやすい、ＩＣタグ管理された、空調制御のある収納スペースを設ける。
- ②児童図書、成人図書を効果的に配置する
 - 読書スペースの静かさは確保しながら、児童図書と成人図書、ヤングアダルトコーナーを配置する。
- ③利用しやすい書棚にする
 - 書棚は４段以下、車いすの利用を想定した配置とする。
- ④開架スペースを最大に活用する
 - 閲覧・貸出の多い図書を見やすい場所に置けるようにする。
 - どこにどんな本があるのかわかりやすく、想像しやすくする。
 - 全集類は貸し出し窓口に近い中規模な閉架書庫に置く。

⇒図書館以外のスペースを最小限にする

- ①会議室等はフレキシブルなスペースとする
 - 固定的な空間としないで、状況対応ができるスペースとする。
 - 和室、休養室はなくてよい。
 - スペースが空いている時は、読書、学習スペースとして開放する。
- ②図書館に包括するスペースを精査する
 - 飲食スペース、喫茶の利用イメージを議論する必要がある。
 - 閲覧と喫茶の利用イメージを議論する必要がある。

⇒図書の管理を次世代的にする

①視聴覚コーナーのあり方を検討する

- 視聴覚スペースのあり方を精査する。(情報コンテンツのあり方、民間のサービス業種との棲み分け)
- 閲覧手法を近代化する。(行政資料、郷土資料などの電子データ化、紙媒体で収集しない)

②ＩＣタグを導入する

- ＩＣタグの導入により、近代的に管理する。

⇒利用しやすい動線とする

- 受付スペースと事務所は離れていていい。
- 受付と閉架書庫は隣接させる必要がある。

2) 朗読奉仕グループ くろつぐみの会

日 時：令和元年 12 月 27 日（金）13：30～15：00

場 所：御殿場市図書館 2階会議室

参加者：朗読奉仕グループ くろつぐみの会／ 桑原代表

御殿場市役所／ 山崎課長、遠藤課長補佐

御殿場図書館／ 土屋館長

(株)地域まちづくり研究所／ 鋤柄

団体概要、背景など

《概要》

- 昭和 58 年から活動している福祉団体。視覚障がい者のための音声録音のボランティアをしている。団体登録は 25 名（女性 24 名、男性 1 名）で 70 代の高齢者が多い。
- 障がい者は、主に全盲の方が 16 名登録しているが、登録者は減少している。
- 活動場所は図書館と市民交流センターで年間 94 日以上、デイジー図書への吹き込み等の活動をしている。

《背景》

- 最近では点字を読むことができない障がい者も多い。デイジー図書を必要としている。
- 若い人はパソコンやスマホで情報がとれる。一方、高齢の障がい者は、旧来の手法でないと困ることが多い。

《特徴》

- 視聴覚障がい者のための吹き込みボランティアが図書館を起点として活動していることは県内でも事例が少ない貴重な活動である。
- サービス利用者とボランティアの双方が高齢化しており、新たな参加者は少ないため、参加促進が必要である。
- 10 人程度を対象とした読み聞かせ（対面朗読）の場所が欲しい。
- 録音機材や資料のおける専用の場所があるといい。市民交流センターには録音室があり、ほぼ、専用の場所として利用できている。
- 2 年に一回募集して、2 日間の講習を受けて、会員との勉強会を経て録音できるようになる。

《展望・整備との接点》

- ・カセットテープのデータは図書館に寄贈され、誰もが聴くことのできるデータになっている。カセットのデータをデジタル化したい。
- ・小会議室のような場所で、視覚障がい者との活動ができるとうい。
- ・図書館に寄贈されたデイジー図書は全国で公開されている。
- ・視覚障がい者の方が図書館に来て、全国のデイジー図書を自由に利用できるよくなるとうい。
- ・新しい図書館には、バリアフリーの要素は不可欠だと思う。
- ・新たなボランティアが参加しやすい仕組みや施設となるとうい。(アクセス、受付窓口、参加機会、施設内機能)

【参考】

デイジー図書

- 図書館では障がい者向けコンテンツ作成のためのデイジー図書の複製が合法化されている。(著作権法：H22)
- デイジー図書は、サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)からダウンロードすることができる。サピエは有料の会員登録が必要。数万点の音声デイジーが登録されている。
- 「マルチメディアデイジー」を入手するには、公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会情報センターの「デイジー研究センター」が運営する「エンジョイデイジー」で有償・無償でダウンロードできるコンテンツが用意されているほか、デイジー図書を提供する他団体のリストも掲載されている。
- デイジーは世界共通の「規格」であるため、デイジー規格に沿ったさまざまなソフトウェアや専用機器も販売・提供されている。Windowsだけでなく、iOSやAndroidのタブレットでもデイジーを楽しめるアプリが開発されている。デイジー図書を製作するためのソフトウェアも公開されている。「エンジョイデイジー」では、AMIS(アミ)というマルチメディアデイジーの再生ソフトを無償でダウンロードすることができる。
- 専用のハードウェアはシナノケンシ株式会社「プレクストーク」シリーズをはじめ、複数の再生機器や録音編集機器が製作販売されている。

読書バリアフリー研究会

- 公益財団法人の伊藤忠記念財団が主催し、文部科学省、公益社団法人全国学校図書館協議会などが後援して、全国の図書館をめぐるながら開催する、障がいがある子どもへの読書支援等に関する講座。

(3) 図書館等整備基本構想策定懇話会 視察後アンケート

1) アンケート結果 (※調査票は資料編 P.90 ページに掲載)

各資料要素別の委員の評価は以下のとおりである。富士山、土器・石器、農工具の評価が高い。

〈印象〉：支持の数 (優先)：優先1＝3票/1つ／2＝2票/1つ／3＝1票/1つで集計

①古代の土器・石器 〈印象4〉(優先16票/1つ)

- 御殿場地方の人びとは原始より富士山の噴火のたびに住処を追われ、再び戻ってきて新たな住居や集落を築くことを繰り返してきた。古代の遺物はそうした人々の生きた証である。展示方法としては、地層標本などを使って出土した遺物と富士山噴火との関連が小学生にも目で見てわかるように工夫する。
- 時代の流れにそって、自然と人々の生活、それがどのように現在の御殿場市の発展に継ったかの視点が必要。その際富士山の噴火と人々のとの生活は必ず展示が必要。
- 時系列な展示、御殿場の歴史の流れが見えるような展示
- ジオラマ等も活用し、市内で発掘された土器類を展示し、古代からの歴史展示
- 年代別、場所、解説
- 年代毎、ガラスケース

②富士山の気象観測関連資料 〈印象4〉(優先14票/1つ)

- 富士山頂の測候所を再現し、気象観測機器や測候記録や写真などの資料類を展示する。併せて阿部博士の観測機器及び資料類も展示する。
- 日本で初めての富士山の気象観測、測候所の歴史
- 野中到からレーダー観測までの経緯の中での説明展示
- どのような観測をどのような環境でやられていたのか分かる展示
- 外庭、エントランス等、場所を工夫したい。

③庶民の暮らしの生活用品 〈印象5〉(優先11票/1つ)

- 現代の物品と対比させることにより時代ごとの生活を子どもたちに学習させる。
- 時系列な展示、御殿場の歴史の流れが見えるような展示
- 衣・食・住の違いは興味関心をひく
- 常設展示

④木製の農工具 〈印象7〉(優先10票/1つ)

- 昔の人びとの暮らしが分かるように、季節や年中行事にあわせて生活用具や生産用具を展示(季節ごとに展示替え)する。
- 常設展示(サブスペースで可)
- 御殿場の竹かご、製糸、ワラジ
- 現代の物と比較ができるような工夫をしてみても
- 触れることができるように

⑤養蚕の農具類 〈印象5〉(優先7票/1つ)

- 日本の近代化を支えた養蚕業は、御殿場地方においても主要産業であった。展示は蚕を育てるところから繭ができて、糸を紡ぐところまでをわかりやすく展示する。さらにパネル等で日本の生糸産業、紡績業の発展の歴史を御殿場に関連付けて写真や資料で説明する。
- 季節や時期などによって本を紹介するコーナーにて、その時期の昔話や郷土のお話の本などと連動して展示できるコーナーもあると、お話の情景や状況等がわかるだろうと、少しでも感じられるように思います。

- 人形等で使用方法がわかるように
- 養蚕は老人と子供のギャップがあり面白いのではないか。

⑥豪商や酒屋の道具類 **〈印象2〉(優先0ポイント)**

⑦絵画・古文書関係 **〈印象1〉(優先0ポイント)**

⑧その他 **〈印象0〉(優先3ポイント)**

- 近代の様子が分かる時代資料（江戸、明治、大正、昭和、平成入門期の子供対応には具体物）

ふさわしいテーマ

《富士山の噴火と人々の暮らし》

- 「富士山とともに生きてきた御殿場地方の人びと」
- 「宝永の噴火とそれからの復興の詳細」特に、教育施設としてのみならず、観光施設としての役割を重視。
- 「富士山の噴火と人々の暮らし、克服の歴史」
- 「富士山」のイメージを前面に押し出す
- 「宝永の噴火」

《御殿場の歴史と暮らし》

- 「御殿場地方の庶民の暮らし」メインは図書館としてスペースがない場合は資料館の倉庫とし、図書館の空いたスペースに展示場を設ける程度でも良いと考えます。
- 「御殿場線と発展、暮らし、産業の歴史」
- 「大野原の演習場の歴史、住民のかかわり」
- 「御殿場が御殿場になった背景」「御殿場を支えた人、もの、こと」
- 「生活の移り変わり（一般人の生活）」→どういう生活だったかを実感できるもの
- 「生活」

《サービスの充実》

- 市民サービスが第一（維持管理体制、人材の確保、ボランティアの活用等の充実）

寒川図書館視察を踏まえて参考にしたい意見

御殿場市立図書館の整備に取り入れるべきこと

■入りやすい工夫

- 動線や雰囲気等、入りやすい工夫を施す
- 小学校や地域と連携し、図書館の利用を促す
- バリアフリー化を推進する
- 公共施設が近くにある利便性（場所・移動手段）を生かす

■多目的な利用

- 子育て世代が利用しやすい施設を目指す
- 子育てボランティアや関係機関との連携を図る
- 子ども用トイレ、授乳室、親子読書コーナーなど設備の充実を図る

- 円形劇場のようなお話コーナー（ステージ）を設ける
- 滞在時間をのばすために、食事もできるふれあいコーナーを設ける
- コンサート、イベント、学習会など、多様な使い方ができる施設とする

■充実した人材・運営の工夫

- 指定管理制度の導入し、「知識と情熱のあるスタッフ」を配置する
- 多彩な事業展開に向けて、職員を増員する
- ソフト面の充実を図る

■十分な施設規模

- 十分な図書等の収蔵スペースを確保する（収容能力 40 万冊）
- ゆとりある滞在型の図書館を目指す
- 読み聞かせ、自習室等のゆとりある施設規模とする
- リラックしながら読書ができるソファを配置する

■安全・安心

- 耐震、防災対策を強化する

■ゾーニングの工夫

- 児童書コーナーの場所を工夫する
- 多くの閲覧席を設け、ゆったりとした空間設計を行う
- 動線、ゾーニングを明確にし、快適な空間とする
- 用途別学習室を設ける（グループディスカッション用、学習用、調べもの用）

■新しい図書館システムの導入

- ＩＣタグによる蔵書、資料の管理を行い、業務の効率化を図る
- Wi-Fi などネット環境を整備する
- 検索だけではなく、電子図書や商用データベースなどの閲覧可能な端末を設置する

■郷土資料、公文書の充実

- 古文書のデジタルアーカイブ化（ネット、館内閲覧）を図る
- 公文書の管理、資料化を進める
- 収集・保存・提供・レファレンスを効率的に行う
- 公文書、古文書、書図を保管し、企画展示を行う
- 社教関係だけではなく、教育総務、学校教育、学校給食関係資料も保管する
- 図書館と郷土資料館の協力体制と役割分担を明確にする
- 「御殿場市の事ならなんでもわかる図書館」をテーマとする

■その他

- 資料館的なブースのあり方を検討する（入場館料等）
- 学校図書館、地域の公民館との関係を整理する
- 図書館と文書館のバランスを検討する
- 教育関係、行政関係文書の扱い方を検討する

(1) 整備計画における条件

整備計画の策定に関しては、これまでの検討経過から以下の条件が必要となっています。

- 新たな場所に施設整備をする間、現図書館は現状どおり開館を続ける
- 民俗資料収蔵庫等の資料を展示する郷土資料館的機能を持った施設の併設を検討する
- 原則として、図書館施設（建物）の規模を拡大しない整備（現有施設以下）とする

(2) 整備課題の整理

1) 現況調査結果を踏まえた課題

- 蔵書の整理・充実等による効果的な貸し出し
 - ・効率的に収蔵されていない蔵書（書庫）の収納改善
 - ・蔵書スペースとサービススペースの動線改善
 - ・正確で効率的な蔵書の管理（IT化など）
- 利用が少ない図書書棚スペースの有効活用
 - ・脚立を使わないと利用できない高さの書棚（6段以上）、利用頻度の極めて少ない書棚（過去の新聞など）の配置を改める
 - ・行政資料、地域資料の配架方法の見直し
- 機能性を重視した設備（環境）の整備
 - ・空調設備の効きが悪いところや照明の不足しているところが無いように配慮する
 - ・窓口サービスの行きやすいカウンターに配慮する
- 郷土資料の収蔵物の精査と収納スペースの確保
 - ・保存が必要な郷土資料となる収蔵物をその根拠と併せて精査する必要がある
 - ・精査した収蔵物の保管に必要なスペースと既存施設の活用を検討する必要がある
 - ・古文書の収集と保管について作業場所と保管スペースを想定する
 - ・常設展示が望まれる郷土資料の候補案を抽出する

2) 市民ニーズを踏まえた課題

- 親子・子どもの読書スペースの不足
 - ・ゆとりある読書スペース、読み聞かせスペースの確保
 - ・保健センター、ふじざくら、幼稚園、保育園等と連携した読書活動（ブックスタート等）の充実
 - ・子どもの読書活動、富士山のように大きな心をもつ人格形成につながるワークショップ等の開催

○くつろぎ交流できる環境の提供

- ・レファレンスサービスと学習スペースの提供
- ・雑誌の閲覧、行政資料の公開（パンフレット等）とくつろぎのスペース
- ・飲食のできる場所と閲覧スペース
- ・本の紹介や芸術文化の作品が展示できるオープンスペース

○わかりやすい動線とICTを活用した蔵書管理システムの導入

- ・図書を選択や管理がしやすいシステムの導入・入替
- ・わかりやすくコンパクトな動線と機能的なゾーニングの確保

○図書館弱者等に向けたサービスの検討

- ・デージー図書、点字、音読CDなどの提供（ボランティアとの協力）
- ・図書館弱者への対応の充実（ライオンズ号、分館等）
- ・市内から図書館への路線バス等運行の充実

○資料の収集、保管と活用

- ・行政資料の収集、整理、保管、有効活用の具体的な方法とスペース
- ・民俗資料、古文書等の収集、整理、保管の具体的な方法とスペース

○郷土の資料を収集・発信

- ・郷土資料の展示スペースの確保
- ・御殿場の特徴を発信できるテーマ展示の充実
- ・郷土愛を育むプログラムの提供

(3) 関係法令

新図書館等整備において遵守すべき主要法規制、関連する法規制を以下のように整理しました。

■法規制の整理

法律の名称	申請・許可・届出・義務の別	申請・許可・届出必要規模	申請・許可・届出先	備考
建築基準法	確認申請 または 計画通知	都市計画区域内の新築行為すべて	静岡県（受付窓口は御殿場市建築住宅課） または、指定確認検査機関	確認申請、計画通知の別は、御殿場市建築住宅課に確認が必要。
消防法	消防用設備設置届	消防用設備の設置	御殿場市・小山町広域行政組合消防長	消火器具、屋内消火栓設備等の消火設備の設置しなければならない。 消防用設備設置届は、工事完了日から4日以内に届出が必要。
都市計画法	開発許可	市街化調整区域内ではすべての規模	御殿場市都市計画課	図書館は都市計画法29条1項3号により原則として許可不要だが、開発許可担当部局との事前協議を行うことが望ましい。
景観法	届出	延べ面積1,000㎡を超える建築物の新築	御殿場市都市計画課	他法令等の手続を行う30日前までに届出が必要。
屋外広告物法	許可申請	広告物を表示設置する場合	御殿場市都市計画課	国又は地方公共団体等が個別基準内で公共目的をもって表示する広告物は適用除外。
森林法	伐採届 伐採調書	1ha未満の開発行為	静岡県（受付窓口は御殿場市農林整備課）	伐採届、伐採調書は伐採の90日前から30日前に提出が必要。
農地法	農地転用許可	—	御殿場市農業委員会	市町村が土地収用法対象事業のために転用する場合、許可不要。
土壌汚染対策法	届出	土地の形質変更部分の合計面積が3,000㎡以上	静岡県東部健康福祉センター生活環境課	土地の形質変更を行う30日前までに届出。

法律の名称	申請・許可・届出・義務の別	申請・許可・届出必要規模	申請・許可・届出先	備考
高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (バリアフリー法)	適合義務	延べ面積 2,000㎡以上の 特別特定建築物 (図書館を含む)	—	建築物移動円滑化基準の適合義務があり、確認申請時に審査される。
静岡県福祉のまちづくり条例	届出	特定公共的施設の新築	静岡県(受付窓口は御殿場市建築住宅課)	工事に着手する日の30日前までに届出が必要。
建築物における衛生的環境の確保に関する法律 (建築物衛生法)	届出	延べ面積 3,000㎡以上	御殿場保健所衛生業務課	使用開始から1ヶ月以内に届出が必要。
建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律 (建築物省エネ法)	届出・適合性判定	延べ面積 2,000㎡以上	静岡県(受付窓口は御殿場市建築住宅課)	省エネ基準への適合義務・適合性判定義務
静岡県建築物環境配慮制度 (CASBEE 静岡)	提出	延べ面積 2,000㎡以上	静岡県(受付窓口は御殿場市建築住宅課)	工事着手の21日前までに提出が必要
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	届出	床面積の合計 500㎡以上	静岡県(受付窓口は御殿場市建築住宅課及び管理維持課)	工事に着手する日の7日前までに届出が必要。
風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律 (風営法)	営業制限地域	図書館の周囲 100m	—	図書館の周囲100mは風俗営業許可が受けられなくなる。
風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例	営業制限地域	図書館の周囲 100m	—	図書館の周囲100mは風俗営業許可が受けられなくなる。
図書館法	—	—	—	施設に関する基準はないが、図書館の運営に関して遵守する。
文化財保護法	—	—	—	埋蔵文化財について社会教育課との事前協議が必要となる。
御殿場市土地利用事業指導要綱	承認申請	施行区域の面積が2,000㎡以上	御殿場市都市計画課	施行面積の外縁部には15%以上の緑地を確保する。
騒音規制法 振動規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定施設設置届出	特定施設(騒音)や特定施設(振動)に該当する設備等を設置する場合	御殿場市環境課	特定施設の設置の工事開始の日の30日前までに届出

(4) 配慮すべき事項

新図書館等の整備について配慮すべき事項は以下のとおりです。

配慮事項	内容
①防災	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内の施設を災害時に利用することは難しいが、屋外空間は災害時の避難場所として活用できるため、外構のベンチなどに防災時への配慮を行う。 ・「生活再建への知識」「備えの防災教育」をキーワードとした地域を支える防災拠点として情報をストックする。
②ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・手摺やスロープなどの基本的な配慮に加えて、館内案内サインなどへの配慮を行う。 ・トイレは、オストメイト設備や車椅子利用者の利用を考え、多目的トイレの設置を検討する。 ・乳幼児連れの利用者に配慮するため、授乳スペースやおむつ交換台の設置を検討する。
③周辺施設との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・市民交流、市民活動、児童・老人福祉の増進のための施設機能を必要以上に重複しないように配慮を行う。
④館内サービス（施設関連）	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場は、車椅子用を設け一部駐車スペースは雨に濡れることなく入館できるよう、図書館等と隣接して設ける。 ・利用者用の入口と搬出入口は別に設ける。 ・日当たりのよい南側に児童閲覧室、一般閲覧室を設ける。 ・閉架書庫は書庫内の出納が多いことから、平面的な構成とする。
⑤ICT	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT技術の導入を検討する。 ・館内に無線LANシステムを導入し、蔵書点検への活用や持込PCのインターネット接続に対応する。
⑥文化財の展示・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所が示す文化財展示に適した室内環境とするため、館内の測定値の結果によっては対応が必要となる。

(5) ICT 技術の導入検討

ICT 技術の導入候補項目

項目	メリット	デメリット
IC タグシステム	<ul style="list-style-type: none"> •従来のバーコードと比べて、距離や障害物があっても情報を読み取ることができる •電波・電磁波で交信するため、汚れ、ほこり等の影響を受けにくい •同時に複数のタグを読み取ることができる ➡貸出や蔵書点検を迅速に行うことができる	<ul style="list-style-type: none"> •費用対効果を精査する必要がある
自動貸出・返却システム	<ul style="list-style-type: none"> •利用者がカウンターを通さずに一度に複数冊の貸出を行うことができる ➡利用者のプライバシーの保護と貸出窓口の人員削減が可能となり、レファレンス機能の向上が期待できる	<ul style="list-style-type: none"> •費用対効果を精査する必要がある
不正持出防止システム (BDS)	<ul style="list-style-type: none"> •不正な持ち出しに対してアラームが鳴る ➡ゲートシステムの存在により、不正な持ち出しに対する抑止力が期待できる	<ul style="list-style-type: none"> •費用対効果を精査する必要がある

(1) 新図書館等の将来像

郷土を知り、学びを育み、相互につながる 図書館

将来像には次のような思いを表現しています。

- 【郷土を知る】 富士山とともに歩む私たちの郷土を培ってきた先人の暮らしを学び、誇りをもって後世に伝えていく図書館とすること
- 【学びを育む】 市民（幼児から高齢者まで）が、読書活動を通じて学び、知識を増やしていくことで自ら楽しみ、ライフスタイルを豊かにしていくことのできる図書館とすること
- 【相互につながる】 親子、サークル、ボランティアなどの交流、各施設を相互利用し、活動することで、くつろぎ、互いにつながる（交流する）図書館とすること

(2) 新図書館等の基本的な方向性

1) 学びを育み、市民がつながる施設とする

これまでの御殿場市立図書館は、図書資料（本、新聞、雑誌、CD、DVDなど）を収集、整理、保存、提供し、それらを誰もが無料で利用できる場所として、さまざまな人々が集まる空間となっていました。新図書館では、市民の生涯に渡り「富士山のように大きな心を持った人」への成長と学びを支え、郷土愛を育むとともに、歴史や文化を未来に繋ぐ施設を目指していくこととします。

また、まちづくりを支える情報拠点としての機能を拡大することで、多くの市民の学びを支え、市民の活動を支援します。さらに、地域の歴史や文化の情報が現代に伝わり、新たな文化的活動が造り出され、地域の未来に繋がることで、御殿場市を活性化していく役割も期待できます。これらの、郷土に関する歴史資料の展示活用等を図ることにより、御殿場市の未来を担う子ども達が御殿場をより身近に感じ、愛着や誇りを持ち、より住みやすいまちづくりのために力を尽くそうという意欲や志を持つようになります。

新たな図書館像は、これまでの施設や蔵書量の増強を単に図るのではなく、情報を束ねる場として資料の充実を図り、市民の課題解決を支援するサービスを充実させ、自ら課題解決できる市民を育む機能を強化していくことを主眼とします。そして、人の繋がりと成長を育む拠点としていくための展示や活動のための場を確保・整備し、図書を通じた人々の交流や、幅広い世代の居場所づくりなど、時代に適合した新しい機能も付加していきます。

また、市域全体への適正な図書サービスを提供できるよう、他の施設や学校図書館との連携を強化するとともに、時代のニーズに合った資料や情報を補完し、共有できるシステムの構築を図っていきます。更には、全市的な図書館サービスの提供を目指し、移動図書館車の活用や拠点となる地域施設でのサービス展開を検討していきます。

2) 複合化により魅力を高める施設とする

古文書等の紙資料の大半はこれまで図書館が受け入れていましたが、近年は図書館側の収蔵スペースや対応する人員が不足していることから、新たな受け入れについては、古文書等も歴史民俗研究会の協力のもと整理作業を進め、民俗資料収蔵庫で受け入れています。

近年、建設されている図書館は、公共施設整備の経済性と効率性を考慮して、複合施設としての整備が圧倒的に多くなっています。

新図書館に郷土資料館機能をもたせ、複合施設として、共通のテーマをもつことで、ハード面での効率性と、ソフト面での連携性と充実が図れます。このように両者が一体となることでより多くの集客が可能となり、郷土である御殿場に関する情報提供・情報発信がさらに進んだ魅力あふれる施設となります。また、市外からの誘客効果もあることから、賑わいの創生、当市のPRに大きく貢献します。

更に、当市の「公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づき、省スペース、コスト削減や効率的な施設整備を行う観点から、第四次御殿場市総合計画に位置付けられている郷土資料館との複合化という視点に立ち整備することで、財政への負担軽減を図っていきます。

(3) 目指す方向性の整理

1 調査研究・資料や情報提供機能の拠点 【課題解決支援】

方針	方策	
	施設・設備の整備	ソフトウェア
①レファレンス機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> レファレンスデスクのわかりやすい配置 参考図書の実装 相談窓口の開設 	<ul style="list-style-type: none"> レファレンス担当者（司書）の育成、効果的な配置 デジタルデータベースの実装 利用者へのサービスの周知 調査研究へのレファレンス対応
②図書館資料の実装	<ul style="list-style-type: none"> 開架図書スペース（児童、ヤングアダルト、成人図書コーナー）の確保 図書館資料に見合う収蔵スペースの確保 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズに対応した図書館資料の実装
③情報化・デジタル化の対応	<ul style="list-style-type: none"> 本の検索機（OPAC）の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ICタグの導入 無断持ち出し防止のための図書の盗難防止システム（BDS）の導入 読書手帳（預金通帳タイプ）の導入検討 データコンテンツの実装
④視聴覚用機材・器具の実装	<ul style="list-style-type: none"> 貸出用視聴覚資料及び視聴覚ブースの配置の確保 	<ul style="list-style-type: none"> データコンテンツの実装
⑤ICT機器の利用	<ul style="list-style-type: none"> インターネット端末の導入と活用スペースの確保（Wi-Fi環境） 	<ul style="list-style-type: none"> データコンテンツの実装 PC持ち込み
⑥教育活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> スペース提供 	<ul style="list-style-type: none"> 人材の確保、育成 教育ボランティアの受け入れ 学習活動の受け入れ

2 誰もが集え、安心してやさしい、交流の空間 【居心地が良い場】

方針	方策	
	施設・設備の整備	ソフトウェア
①閲覧スペースの拡大	<ul style="list-style-type: none"> 居心地の良さ ゆったりと雑誌や新聞を読むことのできる閲覧スペース（ブラウジングコーナー）の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食についてのルールづくり 好感度のある装飾（壁面・掲示）
②居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> 会話のできるスペース、グループ学習のできるスペースの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 図書を通じた交流プログラムの検討 来館を推進するコンテンツの実装 サード・プレイス（第3の場所）となりうるサービスの提供
③学習スペースの提供	<ul style="list-style-type: none"> 学習スペースの確保 閲覧席のWi-Fi環境、電源の整備 	<ul style="list-style-type: none"> フレキシブルな施設活用（平日昼間の大人利用、放課後土日の学習利用）
④飲食（休憩）コーナーの確保	<ul style="list-style-type: none"> 飲食コーナーの確保 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食についてのルールづくり
⑤ユニバーサルデザイン対応	<ul style="list-style-type: none"> 施設、設備におけるユニバーサルデザインへの配慮（車椅子幅、配置のわかりやすさ、トイレなど） 対面朗読ができる部屋の確保 	<ul style="list-style-type: none"> サービスにおけるユニバーサルデザイン（機器等の説明、職員の対応など） ボランティアとの協力、連携
⑥駐車場・駐輪場の確保	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の確保 駐輪場の確保 館内まで雨に濡れにくい動線（傘をささずに館内に入れる） 	

3 図書館システムの中心 【学校や関係機関との連携】

方針	方 策	
	施設・設備の整備	ソフトウェア
①学校・地域・関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館システムのIT化 市立図書館での一元管理 ネットワークの構築 	<ul style="list-style-type: none"> 地域文庫づくり 地域との連携を活かした情報提供
②図書館ネットワークの対応	<ul style="list-style-type: none"> 国立国会図書館及び県立図書館データベースへのアクセス 	<ul style="list-style-type: none"> 対応できる人材の育成 国立国会図書館、県立図書館及び他市町との広域連携
③子ども読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 利用しやすい読み聞かせ・閲覧スペースの確保 児童図書の実充 	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動プログラムの充実 「第二次子ども読書活動推進計画」の推進 ボランティアの育成と連携
④ブックスタート事業	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせスペースの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ふじざくらとの連携 保育園、幼稚園、保健センターなどとの連携による図書の活用 ボランティアの育成と連携

4 郷土資料館を含む複合施設 【郷土意識の醸成】

方針	方 策	
	施設・設備の整備	ソフトウェア
①展示・提供機能	<ul style="list-style-type: none"> 展示スペース（空間）の検討、確保 	<ul style="list-style-type: none"> 体験型の展示の検討 デジタルデータの表示で省スペース化
②収蔵・保管機能	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵、保管スペースの検討、確保（館内、併設、敷地外を含む） 適切な収蔵設備の設置（空調・湿度） 	<ul style="list-style-type: none"> テーマ展示を想定した収蔵、保管 重要度に基づく展示品の設定
③郷土資料の整備・研究機能	<ul style="list-style-type: none"> 公開・展示手法のイメージづくり 古文書等の整理、研究スペースの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 調査、研究成果のプログラムへの反映 収集した郷土資料の活用 学芸員の常駐（各学校等の収蔵物の案内を含む） 各施設との連携
④次世代への継承	<ul style="list-style-type: none"> 継承しやすい（印象に残る）展示空間づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達へのプログラムづくり 出張体験などの実施 図書館と連携したテーマ展示 副読本の充実

5 効果的・効率的な施設管理 【利用しやすいサービスの追求】

方針	方 策	
	施設・設備の整備	ソフトウェア
①効率的な図書資料の管理	<ul style="list-style-type: none"> IC タグの導入 	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果の高い返却作業、蔵書点検の迅速化、正確化、省力化（IC タグ）の方策の検討 資料の迅速な提供
②貸し借りの利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 自動貸出機導入の検討 明確な書架の配置（手に取りやすい高さ、利用頻度に応じた収納スペース等） 	<ul style="list-style-type: none"> IC タグシステムにより迅速な資料の閲覧を可能にする
③行政資料の保管	<ul style="list-style-type: none"> 行政資料の保管方法、保管スペース（文書庫）の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 保管する資料の基準の確立 保管している資料のデータベース化と活用
④公共交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス、シャトルバス等による公共交通の確保 時刻表を含めたわかりやすいサイン表示 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的なバス運行の検討 その他の送迎手段の検討

(1) 図書館の移転について

1) 移転・改築の理由

現在地での建て替えではなく、移転又は改築とした理由は以下のとおりです。

- ①現図書館の耐震補強及びリニューアルには多額の費用がかかり、建物耐用年数を考慮すると、投資効果が低い。
- ②現在地での建て替えは、図書館の長期休館が避けられず、利用対象者である市民への休館中の影響が多大である。
- ③建て替え期間中において、現存する莫大な蔵書資料の保管場所、施設の確保や代替営業が困難である。
- ④現在地における駐車場が不足している。

2) 移転・改築の必要性

上記の理由から、図書館機能を保持・拡充し十分発揮することと、郷土資料館との複合化を考慮した御殿場市の目指す新図書館の実現のため、十分な駐車場用地を含めた必要スペースの確保ならびに、施設の拡充や更なる複合化にも対応できる、有利で効果が上がる場所への移転が必要だと考えます。

移転改築の場合、建設中滞りなく図書館業務を続けることができること、完成を待つて現図書館を収去移転すればよく、移転に際してのサービスの空白期間も少なく、最もロスがないと考えられることから、より有利な条件の場所への移転を基本に候補地検討を進めていくこととしました。

(2) 候補地の検討

これまでの経過及び移転・改築の条件を踏まえ、候補地に求められる条件及び評価を以下のよう整理しました。

1) 移転先に求められる条件

①用地取得の経済性、優位性

移転先として新たな用地の取得に対し、財政的負担軽減を優先していく。車社会を考慮し、施設や駐車場などの整備に必要な用地を一体的かつ十分に確保できること。

②周辺の社会環境条件

近隣に機能補完可能な既存施設があれば、相互利用が可能であり、建築延床面積の規模も抑えられ、建設工事費等の削減等もでき、効率的な施設整備が期待できる。連携という点でも施設の機能が向上・高度化できる関係がより望ましい。

③交通アクセスが便利で安全な場所

市域の中心部に近く、市民の誰にでも公平で利用しやすい位置であり、路線バス等の公共交通網が整備され、交通弱者にも利用しやすい環境にあること。

2) 新しい図書館等建設の候補地選定と評価

上記の基本的条件を基に、財政への負担軽減を優先に考えるため、「既存施設との関係性、敷地等の確保、交通アクセス」の項目を判断基準としました。既存施設として、不特定多数の市民が交流できる①御殿場市民会館②富士山交流センター③市民交流センターを選定し、その周辺地に新しい図書館建設の候補地を考えました。

候補地の評価に当たり、周辺地は、特定の場所を示すものではありませんが、周辺地内に適地が存在すればそこを判断材料に考えました。

評価結果については、次表の「新しい図書館建設の候補地に対する評価表」を参照

(3) 図書館等建設候補地の評価

■新しい図書館建設の候補地に対する評価表

既存施設名		①御殿場市民会館		②富士山交流センター		③市民交流センター	
施設概要	設置目的	文化の向上 福祉の増進		交流人口の増加 地域の活性化		総合交流、市民活動推進 社会福祉増進	
	竣工日	S51. 1		H23. 3		H20. 8	
	ホール有無	有（大・小）		無		有	
	会議室状況	12室（各種会議室等）		1室（研修室）		9室（各種会議室等）	
	開館時間	午前9時		午前9時		午前9時	
	閉館時間	午後9時30分		午後5時		午後9時30分	
	休館日	第3月曜日		毎週火曜日		毎週火曜日	
	駐車台数	330台		197台		203台	
評価項目		判断基準	評価	判断基準	評価	判断基準	評価
既存施設との連携性	既存施設との相互利用、連携効果、相乗効果	ホール、会議室を活用できるが、文化事業の優先度が高い。	2	図書館より開館時間が短く、会議室が1室しかない。	1	ホール、会議室が活用できる機会が多く、相互利用度が高い。子ども読書活動、市民団体を支援する機能がある。	3
	既存施設の状況（ハード面）	ホール耐震化、設備修繕の必要性有、老朽化。	1	築8年で耐震性、設備が新しい。	3	築11年で耐震性もあり、設備も新しい。	3
	周辺環境、立地条件	行政の基幹である御殿場市役所本庁舎と隣接。一帯に、利用可能な余地がない。市街化区域（第1種住居専用地域）。	2	施設自体は観光交流施設の性格で隣接・連携効果は薄い。市街化調整区域で利用可能余地は多い。	2	複数の社会教育施設が集結し、多数の活動・交流が行われている。市街化調整区域、利用可能余地がある。富士山ゆかりの地。	3
交通アクセス	交通の利便性、駅から徒歩・バスでの利便性	駅から徒歩圏内エリア（駅から徒歩15分）	3	駅から遠い。車利用が前提。バス・徒歩では不便。	1	バス路線多く、施設前にバス停。県道路線に近接する。	2
	位置関係（場所の分かりやすさ）	行政施設の拠点である御殿場市役所近くで、分かりやすい。	3	市西北部富士山側に位置。観光施設として市外の来場者は多いが、市内認知度は高くない。	2	市域中心部に位置。複数の公共施設が周りにあり、認知度が高いエリア。	3
敷地等の確保	施設・駐車場用地の確保	駐車場の活用性があるが、新たな駐車用地の確保は難しい。	2	土地利用の可能性は高いが、新規に取得が必要。	1	市有地が活用でき、既存施設で駐車場として利用されている土地もあり活用度が高い。	3
	財政上の負担度	地価が高く、用地費が高額。	1	用地費が必要。	1	市有地の利用により用地費が最小限に抑えられる。	3
計			14		11		20

(4) 総合評価

図書館建設候補地の総合結果について、以下のように整理しました

【候補1】市民会館

市民会館周辺地は、市街化区域であり、市街地中心地から近く利便性が高いが、地価が高く新規用地取得は困難。連携施設の市民会館は施設の活用度は高いが、老朽化しており、市民利用の自由度に欠ける。現施設（駐車場含む）の再活用も考えられるが、制約が多く効果が低い。

【候補2】富士山交流センター

富士山交流センターは、広く市外域を含めた交流を目指す集客施設であり、開館時間や施設内容（会議室の設置状況など）から連携効果は薄い。周辺地については、位置的にも市域全体から遠距離にあり、また、公共交通アクセスも十分とはいえない。用地の新規確保が必要である。

【候補3】市民交流センター

市民交流センターについては、相互交流、市民活動推進を設置目的とし、新図書館の目指す目的と合致する。市民交流センター隣接区域には市陸上競技場、市体育館、ふれあいプール玉穂と、生涯学習の拠点となる公共施設が多数あり、市民を含め多くの方が来訪する。開館時間も長く、相互利用可能なホールや会議室が充実していることや、駐車場が整備されていることについても、相互連携という点で非常に有利である。建設用地についても、隣接の既存市有地が活用でき、用地費用を最小限に抑えられることは圧倒的に有利である。候補地一帯が更に利用可能性をもっており、施設の拡充や更なる複合化の可能性があることが有利な要件である。このような施設と隣接・連携することで、賑わいの創出だけでなく、更に広い交流エリアの形成に大きく資するものとする。

(5) 検討結果

(3)評価表と(4)の総合評価の内容を比較検討の結果、市民の利便性や財政的負担、隣接による相乗効果の高さや経済性など総合的に判断し、市民交流センターに隣接している市有地への移転が望ましいとの結論となりました。

第6章 整備・運営の検討

(1) 整備概要の検討

① 図書館の規模検討

■現在の図書館と新図書館の比較

項目		現図書館	新図書館構想	
設定年次		R2：2020年 (4月1日現在)	R12：2030年	現在比
1	サービス人口	87,681人	89,000人 <small>（まち・ひと・しごと創生人口ビジョン推計）</small>	+1.5%
2	蔵書冊数 (雑誌を除く)	276,741冊 (3.2冊/市民1人)	310,000冊 (3.5冊/市民1人)	+12.0%
3	入館者数	242,488人	277,000人	+14.2%
4	年間延利用者数	95,658人	111,000人	+16.0%
5	利用登録者数	50,942人	54,000人	+6.0%
6	年間貸出冊数	485,097冊	565,000冊	+16.5%
【敷地・建物の規模等】				
1	敷地の規模	7,700㎡	8,500㎡	+10.4%
2	建物の構造・規模	RC造2階建	RC造2階建	
3	延床面積	2,400㎡	3,400㎡ <small>（郷土資料展示コーナーを含む）</small>	+41.7%
4	開架図書	155,612冊 (一般113,430冊) (児童42,182冊)	160,000冊 (一般115,000冊) (児童45,000冊)	+2.8%
5	閉架図書	121,129冊 (一般97,839冊) (児童23,290冊)	150,000冊 (一般120,000冊) (児童30,000冊)	+23.8%
6	駐車場	一般45台、職員13台	一般60台、職員13台	+15台、同

■新図書館の規模と費用の考え方

項目	新図書館構想		規模と費用の考え方	
	規模等	現在比		
1	建物の構造・規模	RC造 2階建	○建物構造は、耐久年数の確保と設計の自由度を考慮して、地上2階で特別な技術を含まないRC造を想定した。	
2	敷地の規模	8,500㎡	+10.4%	○現状と比較して10%増えており、建築面積1,700㎡、外構6,700㎡程度（調整池を含む）を想定した。外構部分の一部には休憩できるスペースの配置を想定した。
3	延床面積	3,400㎡	+41.7%	○蔵書数、利用者数の増加、施設内のゆとり、ユニバーサルデザインへの配慮、郷土資料機能の新設などにより1,000㎡増床した。

項目		新図書館構想		規模と費用の考え方
		規模等	現在比	
4	開架図書	160,000冊	+2.8%	○蔵書数は現状程度に設定し、棚の高さを低く、通路の幅を広くするなどスペースにゆとりを持たせた。収納に必要な書棚は備品として扱う。
5	閉架図書	150,000冊	+23.8%	○閉架図書の冊数を増やした。効率的に収納することで収容冊数にゆとりを持たせた。収納に必要な書棚は備品として扱う。
6	郷土資料(常設展示)	110㎡	新設	○常設展示のデザイン・施工を20,000千円と想定した。
7	郷土資料(企画展示)	100㎡	新設	○イベントスペースとしても利用可能な設備を3,000千円と想定した。
8	駐車場	一般 60台 職員 13台	+15台 同	○これまでの利用状況を考慮して駐車台数を増やし、費用は建設外構・その他の費用に含めて計算した。

②郷土資料常設展示コーナーの展示内容案

展示のテーマ	展示の区分	展示内容の例	展示の方法
1	御殿場の自然史	活火山「富士山」の歴史 ①富士山の活動史 先小御岳、小御岳、古富士、新富士 ②市域に流れ出した溶岩流 「新富士溶岩流」「印野丸尾溶岩流」 ③御殿場の基盤を作った 「御殿場岩層なだれ」 ④延暦、貞観、宝永の噴火 ⑤雪崩、雪代	映像またはパネル展示 【実物展示】 屋外の地層
		気象環境 ①御殿場の気象概要 (温湿度、風向風速、日照時間、天気等) ②年間3,000mm近い降水量、霧のまち ③富士山周辺に現れる多様な雲の秘密	映像またはパネル展示
		植物・生物の様相 ①植物の分布(富士山、箱根外輪山含む) ②生物の分布(富士山、箱根外輪山含む)	映像またはパネル展示
		水(地下水) ①湧水 ②地下水	映像またはパネル展示
2	御殿場の通史	縄文時代 山ノ神遺跡等の遺跡の紹介	遺物展示 パネル展示
		弥生時代 秩父宮別邸遺跡等の遺跡の紹介	遺物展示 パネル展示
		古代 古墳時代 奈良時代 平安時代 ①中田遺跡、永原追分遺跡等の遺跡紹介 ②古代東海道 ③大沼鮎沢御厨 ④中央の歴史との比較	遺物展示 パネル展示
		中世 鎌倉時代 室町時代 戦国時代 ①富士の巻狩・承久の乱にまつわる伝承 ②南北朝時代の争乱にまつわる伝承 (竹之下の合戦、永原古戦場等) ③深沢城跡	遺物展示 パネル展示

展示の テーマ	展示の区分	展示内容の例	展示の方法	
2	御殿場の通史	近世 江戸時代	<ul style="list-style-type: none"> ①徳川家の御殿 (御殿場の地名発祥の地) ②支配者の変遷 幕府領・徳川家 小田原藩領(稲葉家、大久保家) 幕府領(宝永噴火) ③村々の成立、新田開発、交通路 ④富士山宝永噴火、長坂遺跡 ⑤生活、文化芸能、信仰 ⑥飢饉、一揆 ⑦報徳仕法 	パネル展示
		近代・現代	<ul style="list-style-type: none"> ①御殿場口登山道開削 ②東海道線開通、御殿場停車場開設 (「御殿場の兎」『倫敦島』夏目漱石) ③日露戦争、陸軍富士裾野演習場の設置、 印野村北畑の接収 ④別荘地「御殿場」の成立 ⑤関東大震災、昭和恐慌 (社会運動家「賀川豊彦」の農村復興) ⑥第二次世界大戦、戦後のGHQ進駐、 GHQ撤収と自衛隊、国立中央青年の家 ⑦昭和の大合併⇒御殿場市の成立 ⑧東名高速道路等の交通インフラ整備、 市としてのインフラ整備 ⑨富士山測候所「富士山レーダー」建設 ⑩御殿場市史の編さん、刊行 	パネル展示
3	トピック展示	指定文化財 登録文化財	国・県・市指定文化財、国登録有形文化財	パネル展示
		民俗史	年中行事、生業、冠婚葬祭、伝統芸能	民俗資料展示 パネル展示
		気象観測と共に 歩んだ歴史	<ul style="list-style-type: none"> ①野中至・千代子夫妻の挑戦 佐藤順一の挑戦 中央气象台・気象庁と続く 国営事業としての富士山頂気象観測 ②気象学者の伯爵「阿部正直博士」に よる富士山周辺の雲と気流の研究 「阿部雲気流博物館資料」 阿部家「西片御倉資料」の紹介 	パネル展示 気象観測 資料展示
		演習場と御殿場	自然資源の一大供給地「大野原」 陸軍富士裾野演習場の設置 印野村北畑の接収 陸軍廠舎の設置 第二次世界大戦敗戦によるGHQ進駐 GHQ撤収と自衛隊 ⇒北畑出身の代議士「勝間田清一翁」の尽力	パネル展示
	世界文化遺産 富士山	世界文化遺産富士山と御殿場	パネル展示	

(2) 管理運営手法の検討

①運営手法のデータ比較

関連事業者へのヒアリング、社会動向を踏まえて、図書館に関する運営について、直営（窓口業務委託を含む）と指定管理を比較し、以下のように整理しました。

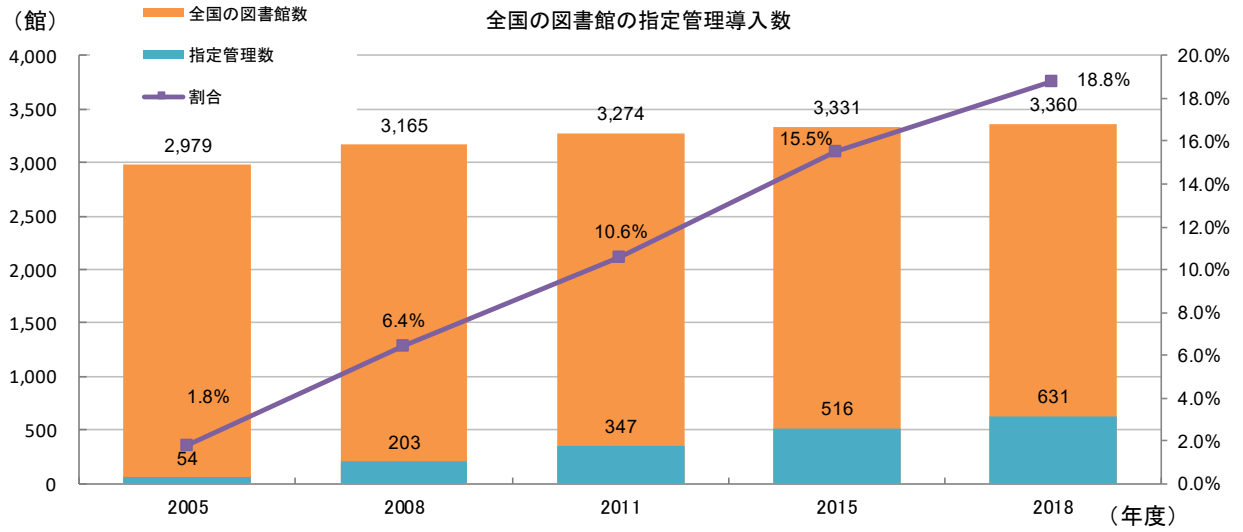
■制度上の特徴

	直営（窓口業務委託を含む）	指定管理
①管理権限	自治体	指定管理者
②施設の使用許可	自治体	指定管理者
③事業者の決定	窓口業務委託の場合、プロポーザル・入札等で決定する	プロポーザル等で選定し、議会の議決で決定する
④管理期間	窓口業務委託の場合、契約で決める	議会の議決で決定する
⑤利用条件の設定	自治体	自治体

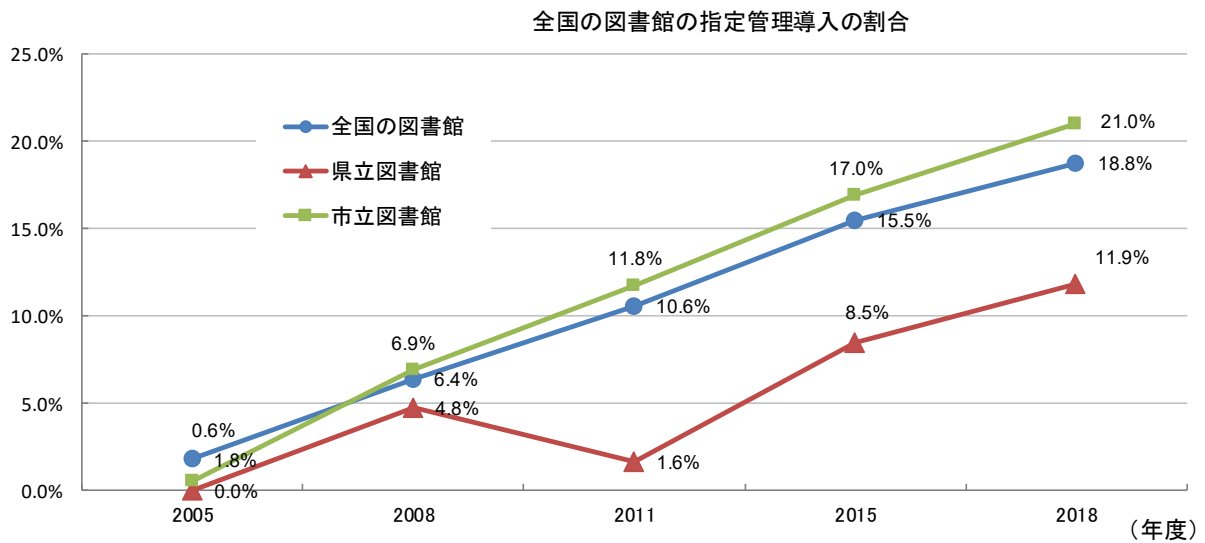
■社会動向

	直営（窓口業務委託を含む）	指定管理
①委託の推移	<ul style="list-style-type: none"> 全国的な受託事業者へのヒアリングによると、窓口業務委託は停滞、減少気味であるとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国調査（出典：日本の図書館 2019）によると、指定管理者は増加し続けており、自治体の管理する図書館のなかでも市が管理する図書館への導入が進んでいる。
②県内の動向	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して窓口業務を委託しているのは御殿場市のみ。 牧之原市は土日祝日のみ窓口業務を委託している。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館単体として導入しているのは浜松市のみ。 小山町は文化会館と一体、南伊豆町は給食センターなどと一体の委託。 浜松市は最も大きな城北図書館を令和2年度に窓口業務委託から指定管理とした。一方、施策の中核にある中央図書館は、指定管理から直営とした。 郷土資料館と併設されている浜松市舞阪図書館等はNPOへの指定管理である。

■全国の図書館の指定管理導入の推移



(出典：日本の図書館 2019)



(出典：日本の図書館 2019)

■ 静岡県内の窓口業務委託と指定管理の状況

自治体名	図書館名	委託形態	受託組織
浜松市	浜松市立城北図書館	指定管理	(株)図書館流通センター
	浜松市立中央図書館駅前分室	指定管理	(株)図書館流通センター
	浜松市立流通元町図書館	指定管理	(株)図書館流通センター
	浜松市立西図書館	指定管理	(株)図書館流通センター
	浜松市立都田図書館	指定管理	(株)図書館流通センター
	浜松市立細江図書館	指定管理	(株)図書館流通センター
	浜松市立引佐図書館	指定管理	(株)図書館流通センター
	浜松市立三ヶ日図書館	指定管理	(株)図書館流通センター
	浜松市立北図書館	指定管理	NPO ふくろうの森
	浜松市立東図書館	指定管理	NPO ふくろうの森
	浜松市立南図書館	指定管理	NPO ふくろうの森
	浜松市立南陽図書館	指定管理	NPO ふくろうの森
	浜松市立可新図書館	指定管理	(株)ヴィアックス
	浜松市立はまゆう図書館	指定管理	(株)ヴィアックス
	浜松市立舞阪図書館	指定管理	NPO ふくろうの森
	浜松市立雄踏図書館	指定管理	NPO ふくろうの森
浜松市立積志図書館	指定管理	(株)ヴィアックス	
御殿場市	御殿場市立図書館	窓口業務委託	御殿場総合サービス(株)
小山町	小山町立図書館	指定管理	シンコー・よしもと運営グループ
牧之原市	牧之原市立相良図書館	窓口業務委託	(株)図書館流通センター
	牧之原市立榛原図書館	窓口業務委託	(株)図書館流通センター
南伊豆町	南伊豆町立図書館	指定管理	(株)共立メンテナンス

②運営方式による項目別の特性と評価

運営方式は、以下のとおり検討しました。判断基準としては、現状を「○」とし、それより優れている場合を「◎」、劣る場合を「△」としました。

項 目		直 営 (窓口業務委託を含む)	指定管理
図 書 館	日常的な管理 (清掃・点検等)	○	○
	軽微な修繕	○	○
	窓口運営	○	◎
	柔軟な運営	○	◎
	レファレンス	○	◎
	適切な選書と 図書の充実	○	○
	ニーズを踏まえた 企画実施	○	◎
	ICT への対応・活用	○	◎
	行政人材の育成	○	△
総合評価		○	◎
郷 土 資 料 コ ー ナ ー	資料の収集、整理 保存、公開・活用	○	△
	常設展示	○	△
	企画展示	○	○
	調査研究・普及啓発	○	
総合評価		○	△

③運営方式の検討内容

●図書館

項目	検討のプロセス（判断の概要）
日常的な管理 （清掃・点検等）	・指定管理となった場合でも、清掃・点検などは外部委託することが考えられ、現在と状況は変わらないため双方〇とした。
軽微な修繕	・指定管理となり、金額を定め計画的に修繕を行う旨を仕様書に盛り込んだ場合でも、程度により、直接または外部発注することが考えられ、現在と状況は変わらないため双方〇とした。
窓口運営	・継続性という意味で市民に信頼感を与えられる点では直営を優位とした。 ・人員配置の柔軟性を考慮すると指定管理者が優位とした。また、指定管理では民間のノウハウを取り入れた新しい取組の提案が期待できる。 ・これらを総合して指定管理者が優位とした。
柔軟な運営	・直営では前例踏襲になりがちだが、指定管理では民間のアイデアを取り入れた新しい取組の提案が期待できる。 ・直営では意思決定に時間がかかり、変化に即した迅速な対応が難しい。 ・民間のノウハウを活かした柔軟な対応が期待できる指定管理が優位とした。
レファレンス	・御殿場市を中心とした地域の実情に詳しい点については直営を優位とした。 ・専門知識が豊富で能力の高い人材が多い指定管理を優位とした。 ・これらを総合して指定管理が優位とした。
適切な選書と 図書の実	・御殿場市を中心とした地域の実情に詳しく、住民からの信頼も得られるのは直営であり、専門的知識が豊富である司書が多数いる民間を活用し、 <u>市が選書の最終決定をすることとすれば優位性には差異がないため双方〇とした。</u>
ニーズを踏まえた 企画実施	・アイデアが豊富であり、民間の発想で新規サービスの開発・普及・実践が可能な指定管理を優位とした。 ・民間のノウハウやネットワークが活用でき、実効性が高く、ニーズに対応した各種講座や講演会等の提案が期待できる指定管理を優位とした。
ICTへの対応・ 応用	・変化に対応したICT機器を利用し、効果的な運営が期待できる指定管理を優位とした。 ・e-ラーニングやオンライン講座等、ICTを活用した学習機会提供の提案が期待できる指定管理者が優位とした。
行政人材の育成	・指定管理業務を継続することで自治体から直接業務の運営ノウハウが消失する可能性があるため、運営ノウハウが自治体に残る直営を優位とした。

●郷土資料コーナー

項目	検討のプロセス（判断の概要）
資料の収集、整理 保存、公開・活用	・御殿場特有の郷土資料に詳しい学芸員を、3年から5年で変わる可能性のある指定管理に求め続けることはできないことから直営を優位とした。
常設展示	・学芸員による資料の特徴を活かした展示は直営が優位とした。 ・展示方法や見せ方では、アイデアやノウハウが豊富な指定管理が優位だが、見せたい要素についての地域性のある知識が不足している。 ・これらを総合して直営が優位とした。
企画展示	・御殿場市を中心とした地域の広範囲な情報を持ち、標準的な企画のできる直営を優位とする一方、ネットワークを活用した展示企画の柔軟性や表現方法といった部分では、指定管理を優位とした。 ・これらを総合すると優位性には差異がないため双方〇とした。
調査研究・普及啓発	・調査研究は長期にわたるが、指定管理の契約期間は3年から5年と短く、 <u>調査研究を託すことはできないので、指定管理は評価できない。</u>

(3)新図書館の建設イメージ

■ゾーニング案

	図書館	現図書館 (㎡)A	新図書館 (㎡)B	増減(㎡) B-A	倍率	利用想定
1階	エントランスホール兼企画展示室	91.1	100.0	8.9	1.1	本の紹介コーナー、郷土資料の企画展示、その他市民の芸術文化作品の展示を行う。
	【新】郷土資料常設展示コーナー	0.0	110.0	110.0		御殿場の郷土史、郷土資料の展示を行う。
	【新】郷土資料展示準備室	0.0	60.0	60.0		郷土資料等の展示のための準備室。
	児童閲覧室	225.0	420.0	169.4	1.7	通路の拡幅、書架外のカラーボックス等の書籍を書架に収納する。 4.5万冊 （現施設4.2万冊）を想定。
	読み聞かせスペース	25.6	(内読み聞かせスペース 60.0)			ボランティアによる読み聞かせの会のほか、親子が読み聞かせができるようやや広めの空間を確保する。
	階段、EV、トイレ	60.8	100.0	39.2	1.6	一般図書を2階に配置し、利用増が見込まれるため通路幅を広く配置。
1階★	BM(ライオンズ号)車庫、準備室	85.8	70.0	-15.8	0.8	移動図書館車、蔵書及び倉庫のスペースを確保する。
	閉架書庫	273.4	420.0	146.6	1.5	15万冊 （現施設12.1万冊）及び古文書を収容予定。現在は収納できず床置きとなっている。
	図書受入室、機械室等	155.6	159.0	3.4	1.0	利用方法等を見直し、合理化を図った。
2階	一般閲覧室、相談カウンター(レファレンス室を含む)	706.2	1,020.0	205.7	1.3	現状の開架書籍数を維持しながら書架の最高高さを手の届く高さとする。 11.5万冊 （現施設11.3万冊）を想定。周囲に閲覧席50席程度設置し、学習スペースとしても利用する。
	新聞雑誌コーナー	47.3				20席 （現施設15席）を想定。
	AVコーナー	60.8				現状と同程度の面積とする。 4席程度 （現施設2席）
	学習室	101.3	70.0	-31.3	0.7	落ち着いて学習ができる空間とする。 40席 （現在は1.2階を併せて45席）を想定。
	多目的会議室	54.7	110.0	55.3	2.0	図書館ボランティア、生涯学習団体等が利用する（ 60席 を想定）。空いているときは学習室としても利用する。パーティションで区切り、小会議室（3部屋）としても使えるようにする。
	【新】カフェ・休憩スペース	0.0	50.0	50.0		来館者の飲食スペースを想定。 20席 （現在の飲食コーナーは4席）
	【新】テラス	0.0	50.0	50.0		富士山の眺望を楽しみながら休憩ができるよう配慮した。
	2階利用者トイレ	45.6	60.0	14.4	1.3	1階と同程度の水準とする。
2階★	図書館事務室	164.9	160.0	-4.9	1.0	IT化、図書のICチップ管理等により整理整頓し効率の良い利用を目指す。応接室を含む。
	更衣室、録音室等	117.8	55.0	-62.8	0.5	事務を効率化し、面積を縮小した。
	その他、廊下等	167.0	370.0	203.0	2.2	部屋の広さは現施設と同規模とする。
	合計	2,382.9	3,384.0	1,001.1	1.4	

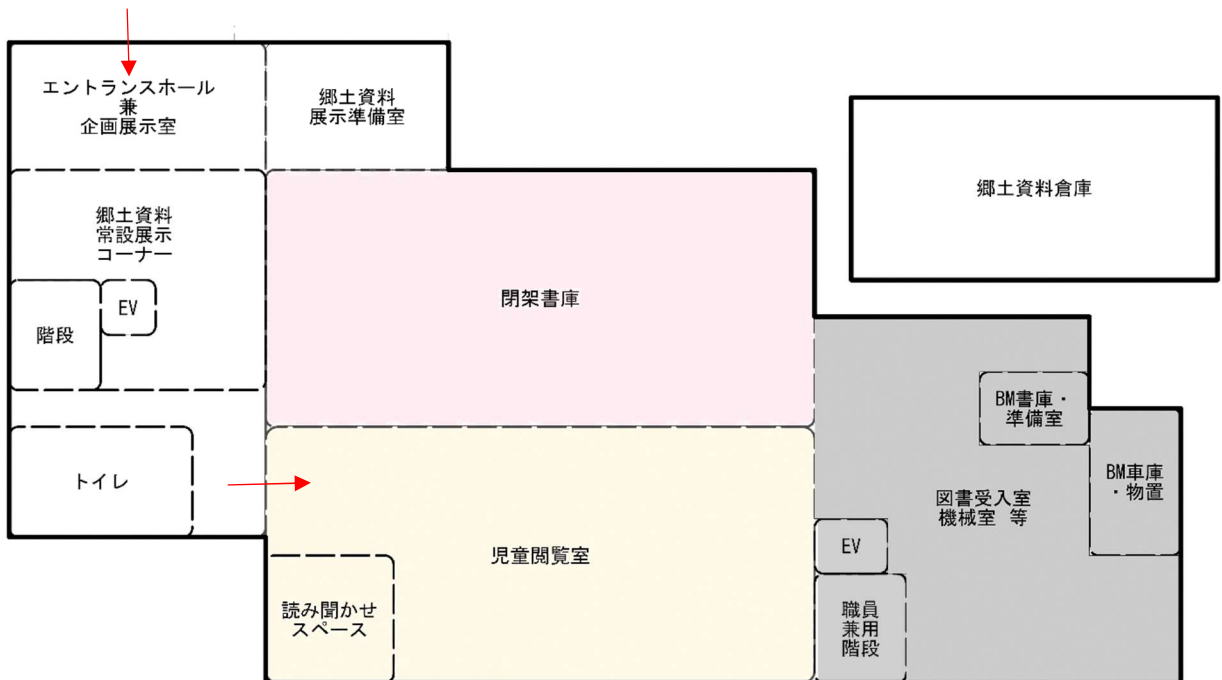
★：バックヤード

【屋外】

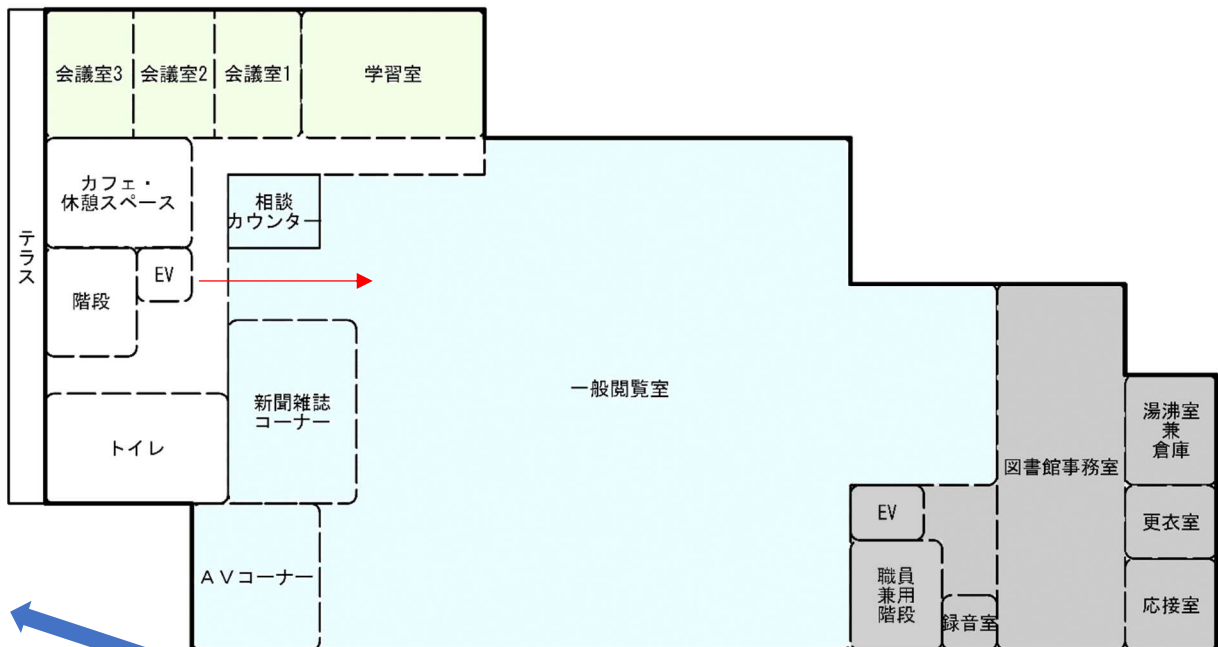
- ・正面玄関付近に富士山測候所のパラボラアンテナ・雪上車を展示する。
- ・駐車場台数 60台（うち身障者用2台）、職員駐車場 13台
- ・駐車場の一部を多目的広場（土器づくり、石器・弓矢づくり、火起こし等の活動ができるスペース）及び四阿として整備する。
- ・切土した御殿場の地層を見学できるようにする。
- ・2階建ての郷土資料倉庫（延床面積 400㎡）

■レイアウトイメージ図

【1階】



【2階】



■ 資料編

1 図書館等整備基本構想策定懇話会概要	77
2 新たな図書館等の整備に関するアンケート調査票	80
3 懇話会視察アンケート調査票	82
4 類似規模図書館の運営手法、職員の配置	83
5 整備・運営の検討を踏まえた指定管理導入事例	84

1 図書館等整備基本構想策定懇話会 概要

■懇話会委員名簿

NO.	役職	団体名	氏名（敬称略）	
			令和元年度	令和2年度
1		静岡県立中央図書館館長	三科 守	三科 守
2		御殿場市文化財審議会委員会	清水 尚彦	土屋 俊光
3	座長	教育長経験者	勝又 将雄	勝又 将雄
4		御殿場市教育委員会	勝又 英和	勝又 英和
5		御殿場市社会教育委員会	御宿 和実	御宿 和実
6		御殿場市立図書館協議会	池谷 岩夫	池谷 岩夫
7		御殿場市図書館ボランティアの会	菊池 いづみ	菊池 いづみ
8		御殿場市歴史民俗研究会	杉山 敏雄	杉山 敏雄
9		御殿場市区長会	勝間田 達雄	勝間田 達雄
10	副座長	御殿場市校長会	福島 英子	長澤 広志
11		北駿中学校・高等学校連絡会	甲斐 正伸	甲斐 正伸
12		幼稚園・保育園教員	田代 一美	田代 一美
13		御殿場市PTA連合会	小泉 英人	宮下 健二
14		御殿場市内財産区連絡協議会	村松 哲哉	村松 哲哉
15		静岡県建築士事務所協会御殿場支所	森谷 洋之	森谷 洋之

■事務局名簿

NO.	所属・役職	氏名	
		令和元年度	令和2年度
1	御殿場市教育委員会 社会教育課 課長	山崎 和夫	山崎 和夫
2	御殿場市立図書館 館長	土屋 正史	青山 文彦
3	御殿場市立図書館 副主任	杉山 彩子	小野 恵理
4	御殿場市教育委員会 社会教育課 課長補佐	遠藤 英樹	遠藤 英樹
5	御殿場市教育委員会 社会教育課 副参事	—	勝俣 竜哉
6	御殿場市教育委員会 社会教育課 主任	勝又 艶子	—

■御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会 概要

回数	日時・場所	内容
第1回	日時：令和元年8月27日（火） 13時20分～15時50分 場所：御殿場市立図書館 2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> • 会議 (1) 市立図書館の概要について (2) 民俗資料収蔵庫の概要について (3) 市立図書館等将来構想庁内検討委員会報告書（概要版）について (4) 新たな図書館等の整備に関するアンケート
第2回	日時：令和元年11月22日（金） 8時30分～16時35分 視察：御殿場市民俗資料収蔵庫 寒川総合図書館 会議：御殿場市立図書館 2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> • 視察 (1) 御殿場市民俗資料収蔵庫 (2) 寒川総合図書館 • 会議 (1) 「寒川町総合図書館」の感想について (2) 新たな図書館等の整備に関するアンケート集計結果について (3) 施設整備の目指す方向性について
第3回	日時：令和2年3月24日（火） 13時30分～16時15分 場所：御殿場市立図書館 2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> • 会議 (1) 図書館等整備基本構想中間報告書（案）について
第4回	日時：令和2年6月19日（金） 13時30分～15時00分 場所：御殿場市立図書館 2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> • 会議 (1) 書館等整備基本構想中間報告書について (2) 新図書館レイアウトイメージ図及びゾーニング案について
第5回	日時：令和2年7月13日（金） 13時30分～15時00分 場所：御殿場市立図書館 2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> • 会議 (1) 図書館等整備基本構想最終報告書（案）について

○御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会設置要綱

(趣旨)

第1条 御殿場市立図書館等整備基本構想（以下「基本構想」という。）の策定に関し、専門的意見及び地域住民等の意見を聴取するため、御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会（以下「懇話会」という。）を開催することに関し、必要な事項を定める。

(懇話事項)

第2条 懇話会は、次に掲げる事項について意見を述べ、及び意見交換を行う場とする。

- (1) 御殿場市立図書館の現状及び課題に関する事項
- (2) 基本構想の整備方針に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、基本構想の策定に関し必要な事項

(参加対象者)

第3条 懇話会は、次に掲げる参加対象者のうちから、教育委員会が依頼するもの（以下「構成員」という。）20人以内をもって構成する。

- (1) 知識と経験を有する者
- (2) 社会教育関係団体に属する者
- (3) 関係行政機関の職員
- (4) 前3号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

(構成員)

第4条 構成員は、懇話会に参加し、意見を述べる。

2 構成員の任期は、教育委員会から懇話会の出席の依頼を受けた日を始期とし、その日の属する年度の翌年度の末日を終期とする。ただし、構成員に欠員が生じたときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(座長及び副座長)

第5条 懇話会に、座長及び副座長1人を置き、構成員の互選により定める。

- 2 座長は、懇話会の進行を行う。
- 3 副座長は、座長に事故あるとき、又は欠けたときは、座長に代わり懇話会の進行を行う。

(懇話会)

第6条 懇話会は、教育委員会が招集する。

- 2 構成員（第3条第2号及び第3号の者に限る。）が事故その他やむを得ない理由により懇話会に出席できないときは、代理人を出席させることができる。
- 3 懇話会は、公開とする。

(謝金等)

第7条 構成員が懇話会に参加したときは、当該構成員に謝金を支給することができる。

- 2 前条第2項の規定に基づき、代理人が懇話会に参加したときは、代理人に対して構成員と同額の謝金を支給する。

(庶務)

第8条 懇話会の庶務は、教育委員会の定める部課において処理する。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の開催及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この告示は、公示の日から施行する。

2 新たな図書館等の整備に関するアンケート調査票

■表面

配布施設名

新たな図書館等の整備に関するアンケート

※新たな図書館等の整備の参考とさせて頂くため、アンケート記入のご協力をお願いいたします。

問1 あなたの住所・年齢・職業をお答えください（1つに○）

【御殿場市内】 1. 御殿場地区 2. 富士岡地区 3. 原里地区 4. 玉穂地区

5. 印野地区 6. 高根地区

【市外】 7. 裾野市 8. 小山町 9. その他（ ）

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上
(9歳以下含む)

1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. パート・アルバイト 4. 学生 5. 主婦 6. 無職

問2 あなたは、御殿場市立図書館を利用したことがありますか？（1つに○）

1. 利用している（最近1年間の間に） 2. 利用したことがあるがこの1年は利用していない

3. 利用したことはない 4. 図書館を知らない・わからない

問3 あなたが、御殿場市立図書館を利用する際の主な交通手段は何ですか？（1つに○）

1. 自家用車 2. バス 3. 徒歩 4. 自転車 5. 電車 6. その他（ ）

問4 新たな図書館に必要と思う項目・機能は次のうちどれですか？（3つまでに○）

1. 図書・雑誌の充実（種類・内容） 2. 映像・音声・電子図書の充実

3. 調べもの相談、学び・自己実現の支援 4. 郷土資料※の保存・活用

5. カフェ・飲食できるスペースの充実 6. 人との交流の場・まちづくり集客機能の充実

7. 公園や他の公共施設の併設 8. その他（ ）

※郷土資料：郷土や郷土関係者に関する文献、考古学資料、測候所などの資料のこと

問5 あなたは、今後図書館がどのような図書資料を重点的に収集すべきだと思いますか？（3つまでに○）

1. 小説 2. 実用書 3. 専門書 4. 児童書（絵本、紙芝居を含む。）

5. 新聞・雑誌 6. 参考図書※ 7. 視聴覚資料 8. 郷土・行政資料

9. 外国語関係資料（新聞・雑誌を含む。） 10. 電子図書

11. その他（ ） 12. 特になし

※参考図書：通読を目的とせず、主として特定の知識や情報を得るための資料のこと

【裏面もご覧ください】

■裏面

問6 あなたは、新たな図書館の整備にあたり、どのようなスペースが必要だと考えますか？（3つまでに○）

1. ゆっくりと本や雑誌が読めるスペース
2. 学習スペース
3. 読み聞かせなど声が出せるスペース
4. カフェ・飲食できるスペース
5. 個人用パソコンなどインターネットが利用できるスペース
6. グループ活動や来館者同士が集うことができるスペース
7. その他（ ）

問7 次の施設のなかで利用する機会が多いものをお答えください（3つまでに○）

1. 図書館
2. 市民交流センター「ふじざくら」
3. 富士山交流センター「樹空の森」
4. 市民会館
5. 保健センター
6. 中郷館
7. 体育館
8. 秩父宮記念公園

◆ 御殿場市の郷土資料への関心についてお聞きします。 ◆

問8 あなたは、郷土資料について知りたいと思いますか？（1つに○）

1. 思う
2. やや思う
3. あまり思わない
4. 思わない
5. どちらでもない

問9 あなたが興味のある郷土資料はどれですか？（該当全てに○）

1. 富士山の気象観測関連資料
2. 古代の土器・石器
3. 木製の農具
4. 養蚕の道具類
5. 豪商や酒屋の道具類
6. 庶民の暮らしの生活用品
7. 絵画・古文書関係
8. その他（ ）
9. 特に興味はない

問10 あなたは、デジタルアーカイブ※された（される）郷土資料についてどう思いますか？（1つに○）

※デジタルアーカイブ：収蔵品を始め有形・無形の文化資源等をデジタル化して記録保存、公開を行うこと

1. 良いことだと思う
2. あまり良いことだとは思わない（実際に見られる方が良い）
3. 特に何も思わない（わからない）

問11 あなたは、郷土の歴史・文化・人物等に関して誇りに思うことがありますか？（自由記載）

= ご協力ありがとうございました。 =

お近くのスタッフにお渡し頂くか、受付にある専用ポストに投函してください。

4 類似規模図書館の運営手法、職員の配置

御殿場市の人口または御殿場市立図書館の延床面積、蔵書数が類似している図書館について、運営方法（直営（窓口業務委託を含む）・指定管理）、職員数を比較し、以下のように整理した。

図書館名	奉仕人口 (人)	延床面積 (㎡)	蔵書数 (冊)	運営方法	職員数		
					職員合計	市職員 (内非常勤等)	委託等
静岡県御殿場市立図書館	8.9万	2,382	27.4万	直営 (窓口業務委託)	17	3 (1)	14
石川県野々市市立図書館	5.2万	3,913	17.4万	指定管理	30	0 (0)	30
千葉県袖ヶ浦市立中央図書館	6.3万	2,260	32.8万	直営	16	8 (0)	8
長野県塩尻市立図書館	6.8万	3,286	40.2万	直営	45	45 (40)	0
愛知県豊明市立図書館	6.9万	2,923	27.6万	直営	20	20 (14)	0
千葉県八街市立図書館	7.1万	2,072	31.7万	直営	19	19 (6)	0
山梨県甲斐市立竜王図書館	7.6万	2,643	28.0万	直営	18	18 (13)	0
三重県名張市立図書館	7.9万	2,070	32.7万	直営 (窓口業務委託)	22	3 (0)	19
東京都あきる野市中央図書館	8.1万	3,478	28.4万	直営	28	28 (18)	0
東京都東大和中央市立図書館	8.6万	2,690	33.2万	直営	32	32 (19)	0
愛知県知多市立中央図書館	8.6万	3,229	33.3万	指定管理	22	0 (0)	22
岐阜県関市立図書館	8.9万	2,232	34.8万	指定管理	21	0 (0)	21
愛知県大府市おおひ文化 交流の社図書館	9.2万	3,650	37.4万	指定管理	33	0 (0)	33
静岡県島田市立島田図書館	9.9万	2,524	27.3万	直営	28	28 (19)	0
神奈川県伊勢原市立図書館	10.1万	3,857	31.9万	直営 (窓口業務委託)	29	8 (6)	21
神奈川県海老名市立中央図書館	13.2万	3,660	33.9万	指定管理	52	0 (0)	52
愛知県西尾市立図書館	17.2万	2,722	73.7万	直営	32	32 (22)	0
平均	8.8万	2,950	34.0万	—	—	—	—

(出典：日本図書館協会「日本の図書館-統計と名簿-2019」)

5 整備・運営の検討を踏まえた指定管理導入事例

(1) おおひ文化交流の社図書館【愛知県大府市】

【指定管理者】(株)図書館流通センター

【蔵書数】約35万冊

【延床面積】3,650㎡

【開館年月】平成26年(2014年)

【特徴】館内には小ホールやレストラン、ギャラリーを備えており、市民が憩うことのできる施設となっている。ボランティアが200~300名程おり、図書館のイベント、企画展示、お話し会、展示、講座などあらゆる面で連携している。



【ポイント】自動貸出・自動返却システムを導入しているほか、IC予約貸出(インターネット等を通じて予約した本を無人の本棚から利用者カードだけで借りられるサービス)が利用できる。

(2) 知多市立中央図書館

【指定管理者】(株)図書館流通センター

【蔵書数】約33万冊

【延床面積】3,220㎡

【開館年月】昭和55年(1980年)

【特徴】英文多読資料を3,000~4,000冊所蔵。資料を使った講座、読書会を開催している。他の県の県史や市史を積極的に収集し、閲覧環境も整えている。ICタグを活用してお楽しみ袋のイベント(タイトルの見えないプレゼント袋に入った絵本の貸し出し)等を実施している。

【ポイント】施設(ハード面)は新しくないが、ソフト面を工夫して運営されている。

(3) 海老名市立中央図書館

【指定管理者】えびな学びコンソーシアム

→構成企業等：カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)、(株)図書館流通センター、相鉄企業(株)、(株)三上建築事務所(設計業務のみ)

【蔵書数】約31万冊

【延床面積】3,580㎡

【開館年月】平成27年(2015年)刷新

【特徴】全国2か所目の「ツタヤ図書館」として注目される。図書館は年内無休、カフェを併設し、イベントにも力を入れて利用を伸ばしている。



【ポイント】こどもトイレ、ベビーカーの無料貸出サービスなどの対応には、民間の柔軟さが感じられる。

御殿場市立図書館等整備基本構想 報告書

発行：御殿場市教育委員会 社会教育課

〒412-8601 静岡県御殿場市萩原 483

TEL/0550-82-0339 FAX/0550-81-0370

令和3年1月